



同 窓 会 報



◆ 発 行 ◆ 宮城県仙台第二高等学校同窓会 〒980-8631 仙台市青葉区川内澱橋通1 ☎ 022-221-5651(直通)
 ◆ Eメール ◆ info@sendainiko-dousoukai.com ◆ URL ◆ http://www.sendainiko-dousoukai.com
 ◆ 印 刷 ◆ 創文印刷出版株式会社 〒980-0821 仙台市青葉区春日町8番34号 ☎ 022-222-0181

第 52 号



入学式の際の合唱部による校歌披露

目次

巻頭言.....	2
支部総会・同期会等開催報告.....	3
寄稿.....	8
理事会からのお知らせ.....	10
支部・OB会連絡先.....	12
同窓会員DB整備ご協力をお願い.....	14
二〇一九年度年間行事予定、評議員名簿、 評議員会報告、理事会等記録.....	16
二〇一八年度収支決算・二〇一九年度予算(案).....	18
会費納入について、 二〇一八年度同窓会費納入状況.....	19
各理事會務分担、二〇一九年度同窓会總會のご案内、 PT同懇のご案内.....	20
同窓会入会式・卒業式・入学式の報告、 定期戦祝勝会、寄贈図書、 ゴルフ対抗戦の報告、叙勲受章者.....	21
過去三年間の大学入試合格状況.....	23
部活動の記録.....	24
北陵会・北社会の記録.....	31
会員計報.....	31
今春の人事異動、Webサイト活性化のお願い、 メーリングリストの利用について、 交通の便、編集後記.....	32

巻頭言

「同窓会入会式に思う」

同窓会会長 大井 龍司（高10回）



八年前の同窓会入会式は、私が同窓会会長として初めて出席した母校講堂での公式行事であった。長い間母校を訪れたことがなかった私にとって、その時はまさに隔世の感（今昔の感とも）を禁じ得なかった。私の母校講堂での生徒集会のイメージは、坊主頭と詰襟姿で黒一色の男子世界である。それがどうだろう、私の目の前には、くつろいだ私服姿の男女生徒の集団が居るではないか、その時覚えた違和感は、今でも私の記憶に残っている。

それはさておき本巻頭言の意図するところは、私が最初の同窓会入会式出席以来考え続けている同窓会入会式の意義と、その果たす役割についての考察である。

母校における同窓会入会式は、昭和五十八年に就任した堀田康哉会長の発案で始められ、それ以降現在まで連続と続けられている。

そもそも同窓会入会式の目的は、卒業を明日に控えた生徒達に同窓会活動を理解してもらい、同窓会員としての意識付けをすることである。それがひいては同窓会活動に若年層同窓生を呼び込むことになり、同窓会全体の発展充実に繋がることになる。同窓会入会式は、まさしく、われわれ同窓会にとって学校の入学式に相当する重要な行事であり、毎年それを公式行事として催してくれる学校には感謝している。

ここで話は再び八年前に戻る。しかるに私が初めて出席した同窓会入会式の雰囲気はいかにも形式的で、その場の生徒達へのインパクトは残念ながら極めて低いように思われた。しかしこの責任は、学校や生徒達にあるのではなく、実は同窓会側にあったと言えよう。同窓会側の出席者は理事数名しかもこのところしばらくはその場に同窓会会長が居ないとなれば、会が形式的に流れるのは致し方のないことであり、学校側もそのことに格別疑問を抱かなくなっていたようである。つまり、卒業生に同窓会の活動に関心を抱かせ、絶好の機会を、同窓会が自ら逸していたということである。

このような現状を憂えて、卒業生達に同窓会をより強く意識付けすることが、引いては同窓会活動の活性化につながるに違いないと考え、以後の理事会において諸々知恵が絞られ実行に移されることになる。

それらには、同窓会入会式には理事のみならず評議員にも出席を促すこと、式次第に同窓生、とりわけ若い同窓生に同窓会員としての体験談を加えること、同期会の旗（中46回、菊地喬先輩の寄付金によって作成）を贈ること（写真）、卒業後果たすべき役割の重要性を認識してもらうため、校長室にて新評議員／常任委員を囲んで集合写真を撮ること、従来はA4判資料1枚を読みながら行っていた「同窓会活動の概要」の説明を、パワーポイントを用い視覚に訴えながら行うこと等々があるが、加えて同窓会長自らが出席し、本日から同窓会員になる卒業生に向かって直接歓迎の言葉を述べることも極めて重要である。

さて結びである。このところ、若い卒業生の同窓会離れが、母校同窓会活動の大きな課題になっており、また女子同窓生の将来の動向も危惧されるところである。これらの問題を解決しなければ同窓会そのものが先細りしかねない。そこで本巻頭言で同窓会入会式を取り上げ縷々述べてきたのであるが、もとよりその成果だけでこの

課題が解決されるとは考えにくい。その他の取り組みとしては、日頃から多くの機会を捉えて、現役生徒と同窓会の距離を縮めるよう努力すること（例えば北陵祭への同窓会ブース設置など）、各回の評議員や常任委員が会則に示す通りの役割を果たすよう促すこと、さらにはクラブOB会を通じて現役部員や若手OB達との連携

を深めること、地域ならびに職域支部会では、若手同窓生との連絡を密にして交流を深めることなどが挙げられる。理事会の努力だけでは自ずと限界があることから、各地域や各年齢層の同窓生が、それぞれの立場で若手の卒業生を同窓会活動に呼び込む努力をして下さるようお願いしたい。



支部総会等 同期会 開催報告

支部総会報告

第五回 山形北陵会

仙道富士郎（高9回）

平成三十年九月九日、ホテルメトロポリタン山形で第五回山形北陵会を開催いたしました。同窓会本部からは、大井龍司会長さんと、鈴木利明事務局長さんにお出でいただきました。会員の出席は十一名でした。



母校は東大に十八名も合格する全国でも有数の公立高校に発展したとお話に、誇りを覚えると同時に、皆、あまり勉強しなかった高校生時代の事を思い出し、苦笑がこぼれました。各自の近況報告では、やはり、近況というよりも二高時代の思い出話に花が咲きました。

会としての課題は、山形の大学に進学している二高卒業生の発掘で、来年の会には是非大学生にも参加してもらおうということになりました。折しも、北海道地震の直後で、同窓の者たちが、こうして出会える幸せに感謝した次第です。校歌を斉唱し、再会を約束して、会を閉じました。

古希記念同窓会

遠藤 謙治（高19回）

高19回生の我々は今年（平成三十年）母校を卒業して五十二年となりました。古より七十歳まで生きることは古来稀な事として祝われてきたので、我々もそれを記念して同窓会を企画しました。前年のうちにアンケートを取りました

が、温泉宿泊よりも日帰りを希望するの方がやや多かった為、泊まり行事は断念しました。

十月十三日（土）、仙台スマイルホテルのシェルブールには京都をはじめとした全国から学友たちが集まりました。その数五十一名。同窓生四三〇名のうち欠席者は二五〇名で、所在不明で連絡が取れない（連絡不要と云う人も含む）同窓生は七十一名。既に亡くなった学友が五十八名と云う状態です。所在不明の人の中にも既に亡くなっている人も居るだろうと思われれます。

今回の同窓会は第七回目ですが、平成二十年の第五回同窓会までは何時も八十名前後の参加者が居ました。第六回目以降参加人数が少なくなってきましたが、何時まで続けられるか気になるところです。

式は午後四時に開会宣言、亡くなった友への黙祷の後、代表幹事の本郷道夫君の挨拶で始まりました。乾杯の発声は京都から馳せ参りましたが、他の会合に出席していた友も後から二人駆けつけてくれました。

今回の集まりには他の会合と違って、我々もそれを記念して同窓会を企画しました。前年のうちにアンケートを取りました

る人たちが多い様です。社会の中で活動することで生甲斐を感じているのだと思います。中にはホテルが取れないので来られないという人も居ました。実施する時期を考えなければならぬなど思った次第です。後日の反省会では、もう次回は平日の実施で構わないだろうと云う事になりました。

フィリピン歌手を二名召請して、昔懐かしい歌を皆で歌おうと企画しましたが、誰も歌を聞かず歌わずで（まるでBGM扱い）、会話に夢中の状態でした。しかし会も終わりに近づくや元応援団幹部のリードで「雨か嵐か」を全員で大声を出して歌い、校歌を厳かに

歌いました。一年生の時、教室で弁当を食べていると三年生の応援団幹部がなだれ込んできて応援歌の練習をさせられた事が思い出されます。あの時はわずかに二歳年上の幹部達がものすごく怖かった。時を経て、あの時の上級生幹部は年の差など感じない飲み友達となっています。

また元気で会おうと約束して



一次会は終了し、ホールの隣のレストランに移って二次会の開始です。移動が僅かで済んでかなり楽でした。二次会の参加者は三十五名。一次会は立食でしたが、今度は着席で落ち着いた会話が出来ました。四時間の長丁場の会合でしたが、未だこれで終わりではありません。サミイとかはしこと高橋晴彦君が企画してくれた三次会ジャズナイトが同期のジャ

ズミュージシャン片倉加寿子さん等、在仙のミュージシャンを迎えて「RELAXIN」で行われました。満席の状態で開催された。スタンダードナンバーのジャズを夜更けまで楽しむことが出来ました。元気なメンバーは四次会まで行っただけです。小生は皆さんに楽しんでもらえたかなと反芻しつつ千鳥足で家路につきました。

仙台二高 在京同窓会

練生川淳志(高30回)

二〇一八年十一月十日(土)、浅草ビューホテル(東京都台東区)において在京同窓会総会・懇親会が開催されました。今年の総会は、菊地龍介委員長(高50)をリーダーとして十七名の若手を中心とした実行委員の皆さんがたくさんの企画を準備してくださいました。

会場内には、「仙台二高今昔写真展」が開催され、甲子園出場や総体四連覇など懐かしい写真がたくさん並びました。また、世界的なデザイナーの庄司正さん(高18)のドレス三点(白石麻衣さん、栗山千明さん、マギーさん着用)も展示いただき、皆さん感激していました。

当日は、ご来賓として、母校からは久保義洋校長、同窓会本部からは山田信一副会長(高17)、また友好関係にある熊本高校東京同

窓会からは岡本利明会長、安在健事業委員長を迎え、在京同窓会会員一三四名と合わせて総勢一三八名での盛大な会となりました。

総会の司会は副幹事長の小野寺容資さん(高51)です。総会に先立ち、会員物故者へ黙祷を捧げご冥福をお祈りしました。今年も十五名の会員のご家族から計報のご連絡をいただきました。

総会では、最初に会長の上條努さん(高24/サッポロホールディングス株式会社代表取締役会長)からご挨拶をいただき、その後来賓を代表して久保校長と山田副会長からご挨拶をいただきました。

久保校長からは文武にわたる後輩の活躍の様子をお話しいただき、続いて山田副会長から本部同窓会の活発な活動内容についてお話しいただきました。その後幹事長による会計報告と齋藤博史さん(高32)による監査報告が行われ、全ての議事を承認後、役員紹介となりました。

懇親会に移るにあたり司会が、山崎朋征さん(高65)と三島めぐみさん(高69)にバトンタッチとなりました。懇親会は、総会実行委員長の菊地龍介さん(高50)の開会宣言でスタートとなりました。

乾杯はご出席の中で一番の先輩であります近藤正太郎さん(高3)と最も若い菅原優さん(高70)のおふたりによるダブル乾杯となり

ました。

乾杯後、宮城県東京事務所の前川文人さん(高51)より、宮城ふるさとプラザの紹介をいただきました。

池袋にあります宮城ふるさとプラザからは今年も出店販売いただき、ご出席の会員にとっては、ご家族へのいいお土産になっているようです。

その後、仙台二高紹介ビデオが放映されました。このビデオは仙台二高を受験する中学生のために現役生が制作したビデオです。懐かしい母校の様子に出席の皆さんは感激でした。

その後、アトラクションとして、昆野巨さん(高51)よりグルメモップの紹介がありました。グルメモップは、今年始まった新企画で、仙台二高や宮城県に関連するお店の紹介企画(仙台二高版食ペログ)です。

最初に、上條会長の経営するグループ企業であるサッポロライオンから北目部長にお越しいただきご案内をいただきました。次に、鈴木壮夫さん(高11)が経営なさっている川越の手打ちそば百丈や女川出身の松川浩子さんが経営する東長崎の三好屋さん、仙台出身の嵯峨完さんが経営する浅草橋のたいこ茶屋さんと順番にご紹介いただきました。特に、たいこ茶屋さんには、大ジャンケン大会で大いに盛り上げていただきました。

次に「仙台二高クイズ」と称して全員参加での仙台二高にまつわるクイズ大会が行われました。仙台二高の歴史に関わる難問珍問で各テーブルが大いに盛り上がりました。

その後、伊藤英孝さん(高18)と島田淳さん(高33)のプランOBおふたりの伴奏で校歌を合唱しました。懇親会の締めめ段では、応援団長を務めた千葉麻夏さん(高68)のリードで、エール交換が行われ、応援団OB OG会員の旗振りの下、全員で「雨か嵐か」、「勝利の歌」、「凱歌」と歌い上げました。中締めとして次回総会実行委員長である田中大輔さん(高51)より次回総会への熱い抱負を語っていただきました。

なお、本年も秋に総会・懇親会を開催予定です。



す。今年も多数の実行委員の皆様が、昨年以上の盛り上がりに向けて、一生懸命準備していただいておりますので、是非多くの会員のご参加をお待ちしております。総会のご案内は、九月ごろ発送予定です。

青森支部総会

新山 龍治 (高22回)

今、私は本同窓会報の支部総会・同期会等開催報告の欄に三年続けて青森支部総会報告を記し始めた。幸せなことである。十八年ぶりに第十一回総会を開催したので三年前。大井龍司会長、そして二高の元校長であり同期の庄司恒一君から尻を叩かれ、開催せざるを得なくなっていたことであった。その時点で既に覚悟していたのだが、その席で事務局長兼任の支部長に任命された。

いかに小規模支部とは言え、これはつらいことになってしまった、と内心密かに感じていたのだが、一昨年の総会にて十和田市から駆けつけてくれる羽賀義広氏に事務局長職を引き受けていただき心から安堵している次第。

さて、いよいよ第十三回青森県支部総会を迎えることとなった平成二十九年七月二十二日、土曜日、午後四時。青森市の割烹「きく長」に集合と相なった。今回は常連となつて下さる筈だった12回の千葉力氏の急逝、そして当日の悪天候による新幹線の乱れから8回の種市襄氏も予想すらし得なかった急な欠席。それだけでなくも人数の少ない我が支部。結局集合したのは、写真右から21回の米田喜興志氏、8回の佐藤秀樹氏、31回の事務局

長、羽賀義広氏、そして22回の新山、私の四名であった。やはり会員数、そして、先ずは出席者数の増加方法を考えなければ、というのが皆の感想であった。ただ、それにしても笑いとお話の途切れることのない本心に心から楽しめる会合であった。

今しばらくは母校の活躍についての語り合いに胸を躍らせ旧交を温め合う、といった、このような支部活動が続くのだろうと感じている。



第14回青森県支部総会報告

本同窓会報第49号にて御報告の通り、我が青森県支部は平成二十七年七月に十八年ぶりに第十一回総会を開催することができた。そして私が事務局長兼任の支部長を担うこととなった。翌年七月には第十二回総会を開催するこ

とができた。しかも大井龍司同窓会会長のご臨席をいただいていたのもであった。更に平成二十九年七月には四名の出席で第十三回総会を開催することができた。

昨年、わずか三名の出席ではあるがなんとか開催出来る手はずになっていた。が、その直前に私以外の二名から欠席の連絡が入り、私一人での総会というわけにもいかず無念の流会となった。これが青森県支部からの最後の御報告とならないことを心から願いつつ今年度の御報告とさせていただきます。

東海北陵会の総会・懇親会報告

佐山 泰弘 (高10回)

平成三十年十一月二十二日に、名古屋市内で第二十三回東海北陵会の総会・懇親会が開催された。久保校長先生はじめ、大井同窓会長、鈴木事務局長の三名をお迎えし、高4回〜高70回の皆さん、計二十名が参加して、総会・懇親会が開催された。

今年の特徴と言えば、最年少卒業生の瀬野君(高70回生で、名大一年生)が参加して、色々と、若者の意見を披露してくれた事(事務局長の鈴木先生が声を掛けたそのうちである)と、同窓会本部のご厚意により、東海北陵会の旗が完成し、会場の中央に掲げて総会が出



第23回総会・懇親会参加者

来た事と言えよう。

会長挨拶・来賓紹介に引き続き、決算報告、役員選任、会勢報告などの議題が審議され、いずれも、原案通り、承認された。現在の会員総数は九十六名である。

総会後、出席者の最高齢である山岸さん(高4回)の音頭で乾杯し、懇親会に移行した。

暫し歓談が行われた後、久保校長先生から「仙台二高学校通信・北陵の四季」の資料をもとにした、校内活動の詳細な紹介があり、多くの生徒が勉強だけにとどまらず、色々な課題に果敢に挑戦し、逞しく育っている様子が紹介された。

次いで、大井同窓会長から、学校の飛躍も素晴らしいが同窓会も大変活性化しており、全国に同窓

会の組織整備が進んでいる状況の紹介や、会費以外に多額の寄付を頂戴している事、及び、創立百二十周年記念行事の紹介等があった。

更に、鈴木事務局長からも、自己紹介を中心とした挨拶があり、同窓会の活性化に尽力する旨の発言があった。

各自テーブルに次々に出される料理と飲み放題のアルコールを堪能しながら、会員同士の和やかな歓談が進められた。

歓談の途中、話題提供として、久保さん(高8回)による「中国と習近平」に関する資料をもとに、中国の現状、アメリカの動向を分析し、結果から原因を類推しながら将来を見据えていくべき、との意見表明があった。

次いで、鈴木事務局長から「旧仙台二中・仙台二高同窓会の概要」の資料をもとに活動の紹介がなされた。同窓会の設立では、北海道から四国・九州まで更にはアメリカ・ヨーロッパまで、整備されつつある事が紹介された。

又、百二十周年記念行事や、記念式典への参加要請も行われた。

懇親会の最後には、元応援団長の栗原さん(高53回)の指揮のもと、全員で「雨か嵐か」「凱歌」「校歌」を力強く歌い、有意義な総会・懇親会を終了した。

以上

高17回生同期会 『39学遊会』 創立の経緯と活動状況

山田 信一 (高17回)

高17回生同期会は、卒業して二十年后に在仙有志の発案で立ち上がりました。昭和39年卒業だった為「仙台二高同期会39会」と名付け、以降、年に一度の総会を中心に活動して参りました。一方、在京のメンバーも約三十名の同期生が定期的に集い、故青山史郎先輩が主催した「東京北社会」にも積極的に参加して、多くの仲間が講師役を務めた経緯があります。



在仙同期会は、年会費の一部で冠婚葬祭の運営もした関係上で事務が非常に煩雑化し、高齢になるにつれて管理が難しくなりました。結果、三年前に解散を余儀なくされ、高17回生同期会は組織として消滅しました。ただこの頃から、県外就職組が終の住処を仙台に求め帰省する者が多くなりました。個別に集合して酒を酌み交わし、そして在仙同期組と合同での交流が始まりました。飲んで、食べて、楽しく過ごすといつた会合が続くと、双方で「何か物足りなさ」を感じるようになりました。三年前に皆で話し合いを持った際、下記のような意見が出されました。

① 同期生は卒業後其々に多様な人生を送って来ており、又貴重な経験も積んできている。同期の中から講師を選出し「得意分野をテーマ」として講演会を開き、勉強し、議論し、互いに切磋琢磨する事によって得られたエネルギーやパワーを皆で蓄えることはできないか。

② そしてこの蓄えたエネルギーやパワーを、次の世代が生き易くなるよう、種を蒔き、道を作る事に使い貢献できたら、最高の生き甲斐になるのではないかと。

以上のような「高い志を持つ」ことで意気投合し、趣旨を生かして「学んで遊ぶ会」学遊会」の発足となりました。それが三年前の平成28年5月の事です。

① 講師役は原則として同期生の持ち回りとし、完全ボランティアで、謝礼は一斉なし

② 宗教的、政治的色彩はいっ齊なくし、

③ 年会費も無し、必要経費は都度集め、運営に負荷をかけるようにしない

④ 興味のある者が集い、チョット新しい知識を身につけ、その後一杯やろうという会です。

講師にお願いした方もさすがに仙台二高OB生、四十数年の間に蓄積した豊富な知識をベースに、皆さん快く引き受けてくださり順調に会を重ねてまいりました。

設立当初は十七、十八名からスタートしましたが今や四十名に迫る参加者となりました。令和元年六月一日には第十回の開



催を迎え、大井同窓会会長、久保仙台二高校長も来賓としてお招きし、更に二十回を目指して新たな目標を掲げ運営してまいります。

学遊会が今までの集まりと違うのは、「七十歳を契機にして、学ぶ要素を取り入れた事、そしてネットを通じて全国に交友を深め拡大した事」です。

そして今後共、学遊会の活動を通して同窓会活動への貢献度を高め、同時に仙台二高同窓会のバックアップ組織との位置付けにもなれるよう継続して参りたいと考えております。

上の写真は直近の会合の「第九回の集合写真」と、右の写真は第四回学遊会で大井同窓会長に「小児医療向上への貢献」と題し「こども病院設立について」の特別講演をいただいた時の写真です。

ニューヨーク支部 活動報告

旦 英夫 (高20回)

二〇一八年七月二十九日

ボストンでのアメリカ研修を終えた三十七人の生徒をニューヨークのホテルで迎え、恒例の食事会に参加しました。

彼らは、研修で交わった他国の留学生や研究者たちから非常に多くのことを得たようでした。英語での交流は必ずしも容易ではなかったでしょうが、研修をやり遂げた充実感のはっきりと言葉の端々に見て取れました。生徒たちの要望で、我々のニューヨークでの体験をグループに別れて話しました。

ニューヨーク支部のメンバーは、独自の経緯でこの地に住み、異なった仕事に就いています。

生徒たちは、我々ひとりひとりの話にしっかりと耳を傾け、真剣な質問をしてくれました。時間を忘れるほど会は盛り上がり、非常に楽しい時間となりました。

二〇一九年一月十五日

新年会をマンハッタンの和食店「魚国」で開催。

会員七人中、五人が出席しました。底冷えがする宵でしたが、会った瞬間から、心は熱く二高同窓の絆を感じました。ニューヨークで、同窓で集まり美味しい日本食をつ



つきながら、宮城の酒を飲むことには特別な感慨があります。食事の後、場所を変えて恒例の応援歌合唱となりました。

携帯電話を使って、二高同窓会のサイトにアクセスし、忘れていた歌詞を思い出し、皆で懐かしい応援歌と校歌を歌うときほど楽しいことはありません。心が一つになるとはまさにこの時です。

ニューヨーク支部の活動を通じて、在校生・卒業生が海外に目を向ける一助となるのが我々の願いです。

現在の支部のメンバーは白田正樹（68年卒）、福永龍美（70年卒）、蓼原祥太郎（86年卒）、松下幸生（88年卒）、小西一禎（91年卒）、永澤志紀（05年卒）、且英夫（68年卒）の七人です。

文責：且英夫 仙台二高同窓会
ニューヨーク支部長

福島北陵会

阿部 力哉（高3回）

平成三十年の北陵会は七月二十一日（土）の総会を福島市内の峰亀においてと、十一月十七日（土）の郡山市バーデンホテルでの一泊忘年会の二回が例年通りに行われました。

写真に見る通り、総会への出席者はほとんどが高齢者で参加人数も年々減る一方です。

しかしながら、仙台二高本部から、久保義洋校長と阿部孝一同窓会副会長のお二人の出席をいただきました。久保校長から仙台二高の高い大学進学率や生徒会部活動の活発な現状をうかがいました。また「文武一道」という学校案内は立派で興味深いものでした。一方阿部同窓会副会長からは今年度



の同窓会活動の概要についてお話がありました。

総会後の懇親会は、和気あいあいと話がくり広げられ、その後には校歌や応援歌を声高らかに歌って興奮させられました。

十一月のバーデンホテルでの忘年会は出席予定者の病欠などで少人数でしたが、カラオケを楽しみ、翌朝はホテルの直ぐ裏でグラウンドゴルフを初めてやりました。私のような初心者でもプレーに加わることができて、プービーながら楽しいものでした。再度挑戦してみたい気持ちでした。

福島県は平成二十三年の東日本大震災から満八年が過ぎましたが、未だに一般の人が入れない避難区域があって、簡単に解決できない大問題が残されています。

クラブ・回期報告等

ハンドボール部

中鉢 貴省（高48回）

昨年70周年の節目の年を迎えた仙台二高ハンドボール部北陵会より、周年を記念して部旗と横断幕を年越しとなりましたが、正月二日、「送球始め」の際、現役に贈りました。

昨年は七十周年の節目の年に五十年ぶりとなる全国への切符ももぎ取り、兵庫県で行われた第四十一回全国高等学校ハンドボール選抜大会にも出場しましたが、実はハンドボール部にはこれまで部旗と横断幕がありませんでした。



そんな中での今回の寄贈。今年からは応援にも更に熱が入り、OBの熱い思いにも後押しされ、益々の活躍が期待されます。

尚、横断幕の文字は現役が熟考の末、「雨か嵐か」に決定。

どんな困難な状況下に置かれても、文武一道の精神を胸に、断固と進んでくれることでしょう。

寄 稿

平曲演奏会開催！

佐々木武夫（高4回）

第三回平曲演奏会が、平成三十年九月二十九日（土）午後、せんだいメディアテークの七階スタジオアターで、満席のもと催された。館山甲午師没後三十年・記録保存CD公開を記念しての公演である。平家琵琶研究保存会会長の館山宣昭氏は本校の第4回生で、前田流平家詞曲相伝者である。これまで中尊寺、仙台医師会館、宮城県美術館、日比谷図書文化館等で演奏を行った。この日は、平家物語の中でも人口に膾炙した「忠度最期」、「横笛（滝口入道で有名）」、「鷄合」、「木曾義仲最期」、「八坂流 訪月」の五曲のうち、前の四曲を、父君の門人の山内とも子女史ほか仲間がそれぞれ担当、五曲目の「訪月」を息宣昭氏が演じて終了した。CD完成（仙台市教育局生涯学習課とメディアテークの尽力によるのと）のおかげで正面スクリーンに謡われている部分がわかる仕組みになっている。平家琵琶の妙なる音に合わせ、長く長く引きのばした、抑揚のある朗々たる声調での謡い、異次元の世界に誘われ、心静まる思いがした。

父君館山甲午氏は、明治二十七年三月十五日生まれ、平成元年一月十九日逝去、享年九十五歳。東京音楽学校（現東京芸大）卒業後名古屋・前橋・仙台に。昭和二十年から仙台一高で教鞭をとり音楽教育に尽力された。昭和四十二年、「記録保存を講ずべき文化財」「宮城県無形文化財」「河北文化賞」を受賞している。

なお、父君の平曲を吹きこんだテープ数巻を、昭和六十年頃に息宣昭氏から本校に寄贈あり、図書館に保管されている。

『雲南紀行』

河合絹吉著

佐々木武夫（高4回）

本文「雲南紀行」その二
旧宮城県仙台第二中学校第五代校長

河合 絹吉 著

※○内の注記は、紹介者、佐々木武夫による。

明治三十八年十一月八日朝、甲板に出づれば、鳥形山影を認む。船、湾中を航海すと思えるは、既に揚子江に入るなり。兩岸の距離目も遙かなり。呉淞より黄浦江に入り、上海に向かう。大なる四つ手を滑車仕掛けに、呑氣らしき漁夫魚を捕うるを見る。初めて接する支那（当時の中国の呼称）の風物、皆一つとして奇ならざるはなし。昼頃、上海に着す。港の盛

況驚くの外なし。護照（中国国内を旅行する外国人に政府が与える旅行免状）の御蔭にて税関の検査もなく手軽に上陸す。日本宿の田中館に宿る。是より二十日まで滞在、この間記事甚だ多し。観察事項もまた少なからず。その間の日誌細かに書き付けたれど、二十日出発の際、田中館のボーイ不注意のため手回りを盗み去られ、それと同時に日誌も失えり。主なる盗難品は、写真機。ピストル。旅券。護照。契約書。銀百余両。

（一九〇五年【明治三十八年】

十一月、上海上陸とあるが、十年前に日清戦争は終結、日露戦争にも勝利した直後であり、日本人は、大手を振って中国を旅行することが出来た。しかし、地方に行くほど治安・秩序の安全保証はなく、護身用のピストルや刀剣の所持が必要であったと思われる。実際、河合校長と雲南に赴任する同行者が数人いたが、その中に日本刀を持参した人がおり、時々、一行の言うことを聞かない従者がおると振り回して言うことをきかせている。）

領事館にて盗難届けを出して、漢口までの切符はあるのを幸い、雲南に行くも、帰国するもその上にて決定せんと決心す。田中館の主人に、盗まれたる品々を詳しく

話し置きて漢口に向かう。

十一月二十三日、天気良し。相も変わらぬ長江の濁流をさかのぼる。渾々たるこの濁水は、支那民族をして自然に不潔ならしむる所になるべし。この水を以て縷を洗い、足を濯ぐとも決して清浄にはならざるなり。（後述するが、屈原の詩、「漁父の辞」をふまえた表現）。むしろ、不潔ならしむるのみ。支那人は、今の程度より清潔なる能わざるなり。山水の明媚は人工の美を生むというの理會（道理を悟ること）にして始めてその真なるを悟る。

支那の富めるは、長江沿岸に來たりて始めて是を知る事を得べし。漢々たる広野には、牛・羊・豚・犬等相戯れ、岸に四つ手網を下ろして漁す。誠に自然の絵画と言ふべし。見渡すかぎり又田園なり。幾万石の米麦を産出するか知るべからず。江水（揚子江）は、日夜東流して行人（旅人即ち河合先生）の情、軫悽愴（益々ひどくもの悲しい）たり。神戸を出でてより帯を解きて寝ねたるは上海のみ。今また漢口にてくつろぐ能わず。

幾夜まる寝の旅枕 故郷の空は夢に見て 越ゆる海山幾万里 野に伏し山に おく露のしづく積もりて揚子江 日夜東に注げども 言いてやらんよしもなし 王昭君のふる事や 蘇武が昔の物語 あ

われ深くは思わずや

（七五調の詩）

平和に楽しき 鎌倉捨てて みずから求めた この苦勞

（都々逸調）

東 東と 流るる水は 日本さしてか なつかしや

（都々逸調）

十一月二十七日、日用品の不足を買いたさんと思ししところに、領事館より使いあり。「荷と手紙と来たれり。来たりて受け取るべし。」と。行きて見れば、上海の田中旅館より送り來たりしなり。ピストル・写真機・空気枕その他、二三品なりき。先日、失いたるを弁償せしなり。

水野領事の尽力によりて旅券も護照ももらう事を得たり。

十一月二十九日朝、洞庭湖に入る。昨夜、未明の頃に岳州に着きしと聞きながら舟眠夢なりがたかりしも起きて見る事をせざりき。今朝見渡せば、渺々たる湖果てしもなし。英国の汽船某号、坐洲して荷物乗客等を我が船に移す。この湖、夏は水量多く自由に航行するを得るも、冬は水枯れて浅き所生ずるのみならず一大草原を現出するに至るとぞ。湖南省の水路を分かちて二とす。湘水及び沅水これなり。二水ともに洞庭に集まり長江に合す。沅水はその水量延長

において湘水より大なるも、水路の一部狭きため、未だ大型の汽船の往来不能なり。

(河合校長は、この洞庭湖の航行に触発され、学生時代に学んだ漢詩を思い出されたのであろう。唐代の詩人、孟浩然・李白・賈至等の洞庭湖を詠んだ詩十首ほど掲載、更に湘江に因んで、屈原の有名な「漁父の辞」を省略せず全文を記載している。この「漁父の辞」の未学習の在校生に概説すると、屈原は、戦国時代に大国であった楚の王家の一族に生まれ、懷王に側近として仕え、王権の確立に務めた。その結果、屈原は貴族階級からの反発を受け、そのざんげんに会い、洞庭湖の南に放逐され、大湿地帯をさまよひ、憔悴し果て、遂に湘江の流れに身を投じる。入水の直前に屈原は、ひとりの漁父と出会い、次のような対話をする。まず、屈原が孤高のゆえに追放されたというと、漁父は、世俗と共に適応して生きて行く生き方を勧める。屈原は、潔白な身をけがすくらいなら死を選ぼうと言った、その決意の変わらないことを伝える。説得を断念した漁父は、「滄浪の流れが清く澄んでいるときは、わたしの冠のひもを洗いまししょう。滄浪の流れが濁っているときは、わたしの足を洗いまししょう。」と歌いながら立ち去った。このように潔癖で正義を貫く

孤高の理想主義者であった屈原に對して、世の中の酸いも甘いもかみ分けた漁父が自分の現実的な処世態度をそれとなく勧めながら舟をこぎ、去って行ったといった内容の詩である。)

船は、蘆林潭を経て靖江に止まる。滅水のため行く能わざるなり。ここより民船に乗り移り長沙に向かう。民船とはこの辺を往復する船の名にして旅客または荷物等を運ぶ普通の小船なり。

十二月一日、朝より轎(キョウ)竹木製の担ぎの乗り物)に乗り雲貴会館に行き、蘇氏と岳麓山に遊ぶ。湘江を渡りて行くこと一時間ばかりにして岳山の下なる長沙の高等学堂に達す。建築広大清潔にして支那には珍しき学校なり。午後岳麓山に登る。風景絶佳、支那に入りて始めての景色なり。日本に帰りたる心地す。山上に望湘亭あり。ここより南東を望めば湘江の水脈一望の中に集まって地図を見るが如し。長沙のあたりの写真を撮る。

(河合校長は、カメラを旅行中に駆使しておられる。昭和三年に本校が北六番丁から川内に移転する

が、その際にも全校挙げての大規模な移転作業風景を盛んに撮影、記録しておられる。これも史的価値あるものは、なんらかの形で後世に残すべきだという考えを常に持たれた先生の、そして当時、先進的で珍しいカメラの愛好者としてのなせる業と思われる。)

この後、愈よ中国内奥の雲南に向け、幾山河を越え行く大変な苦難が続く。

次号に続く。



二高へ(30年10月10日訪問)河合先生御孫さん一行。左から三人目が「雲南紀行」寄贈者の新山淑子様

このお写真は、記載された日に河合先生のお孫さん一行が、二高を訪問され、校長室にて、校長先生、教頭先生との懇談後、河合校長先生のお写真や書軸等をご覧になり、玄関前のロータリーの銅像前で撮影されたものであります。

二高舎内外の、河合校長先生の校舎建築の理念が、多数込められている様子をご覧いただきました。

二高を去られる際に、学校に対し、多大なるご寄付を頂戴しましたことをお知らせ致します。

七十歳でアメリカ一周、二四、〇〇〇kmの旅

村田洋志夫(高18回)

昨年三月末で退職したのを機会に健康なうちに念願だったアメリカ一周旅行を決断し、二カ月間の予定で妻と二人で五月二十三日に成田を出国しました。

主なルートはサンフランシスコ→ヨセミテ国立公園→グランドキャニオン→キーウエスト→ニューヨーク→ナイアガラの滝→ソルトレークシティ→シアトル→サンフランシスコ着の予定でした。

五月二十三日にサンフランシスコに着きレンタカー会社よりカローラを借りて二十五日にヨセミテ国立公園に向かいました。

蔵王山ぐらゐの山だろろうと思っ

て運転していると九〇〇〇フィートの標識があり、路肩に除雪した雪もあるので地図で見ると、峠は九九四五フィート(富士山一二四六〇フィート)と書いてありましたが昔同じくらしい高さの乗鞍スカイラインに行ったので安全と思ひ登りました。下るころには少し頭痛がしました。

二十七日はキングマン→セリグマンまではルート66を通りました。距離は約一〇〇km、IH(インターステイトハイウェイ)40号線と平行していて、街中にはレストランお土産屋等があり昔の日本の国道と似ていました。

二十八日はモニュメントバレーに向かいましたが周りの風景が西部劇映画そのもので、こんな無人の荒野でアパッチと出会ったらと想像したらアメリカには銃が必要なのかなと思ひました。モニュメントバレーは赤い礫質土の広大な高地に高い石柱が点在する台地で、日本では見られない風景でした。今晚泊まるチーバに下山し、街中を走っていると渋滞にあり、横から馬が数十頭、悠々と道路を横断してきたので「さすが西部の町」感心していると、道路標識に「馬横断注意」とありさらに感心しました。

二十九日はグラントキャニオンに向かい園内で給油しようとして九時すぎスタンドに行ったら九時オーブンと書いてあるにもかかわらず

閉まっているので、先に展望台に行きインフォメーションセンターで時間の確認をしたら、朝ホテルを出る際に腕時計の時間を合わせたにもかかわらず、ずれがありました。多分、時差境界と州境界が一致していないのと、サマータイムの子だと思えました。展望台より谷底まで一五〇〇Mぐらいあるので転落しないように歩き、帰りにスタンドにより給油をしました。駐車場で歩き方が少しふらついていると妻から指摘されましたが、自分でも左半身に痺れを感じ、妻も体調が悪いというので今晚泊まるホルブロックに早目に下山しました。

三十日は体調も良く、七時にロースアラモスに向かいました。当地はサンタフェの北方五〇kmにあり、標高二、五〇〇mの高地です。ミュージアムを見学すると、昭和十七年に施設をつくり昭和二十年には原爆を作り上げたことに目的は別にして、組織力、技術力には脱帽しました。

午後ホルブロックのモーターよりメールが入り、バッグを部屋に忘れたとの内容でした。

明日、バッグを取りに行きますとメールで返事をしました。

バッグの中身は地図、薬、洗面道具等であり心配事を抱えては事故の原因となるので取りに戻りました。その日は予定どおりサンタローザに泊まり、夕食後地図を開いて明日の予定を立てました。サンタローザとホルブロックは約五〇〇kmあり制限速度が百十二kmなので十二時間あれば往復できると思いつつ朝七時に出発の予定にしました。

物忘れの原因は加齢ではなく高山病と思いましたが、なぜロッキーマウンテンの幅が一〇〇〇km位あるのか地図を見たらロッキーマウンテンを南北にコロラド川とリオグラデ川があり、それぞれの下流域、中流域にわたり高地を形成し、その上をIH（インターステイトハイウェイ）90号線が東西に横断したと思われず。

往路は何の問題もなく十二時頃にバッグを受け取り二十時頃サンタローザに戻り心配事がなくなりました。

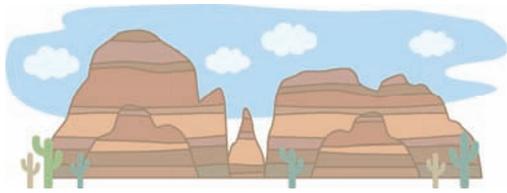
六月一日オクラホマに向かって出発し、昼頃アマリロに着き、周りの風景は中央平原になり完全に高山病の心配もなくなりましたが、帰りのロッキーマウンテンはソルトレークシティ行きは止めてIH90号線でシアトルに行き、バンクーバー、サンディエゴ、サンフランシスコ着の予定としました。

十五日ゲティスバーグをバスツアーで市内見学する際マフラーを外したようなバスに乗りましたが運転手は私と同じ年代ぐらいの婦人でした。アメリカでは高齢でも働いている人の割合が高いと、この旅で感じました。展望台から見

てみると広大な丘陵地帯の各稜線に野砲が十数mおきに数百門、配置されているのを見ると実戦的で、民主主義の聖地と想像していたので驚きました。

その後予定どおり六月二十四日ごろ、ロッキーマウンテンを短時間で越えて七月二十日にサンフランシスコに到着し、二万四〇〇〇kmを無事走破しました。

赤茶けた、乾いた大地のどこまでも続く一本道を走っていると、地平線に突入してしまう様な錯覚に何度もおちいり旅の醍醐味を味わい、日本では想像できない様な、大自然に何度も圧倒され続けた旅でした。



理事会からのお知らせ

武藤順九彫刻園開設

二〇一九年六月八日、東京都下昭島市にある約二ヘクタールの武蔵野自然保護林に、昭島市の都市計画マスタープランに則って「昭和の森 武藤順九彫刻園」が開設される（写真）。自然保護林を彫刻園とするのは、日本の行政上初めてのこと、環境保護上の新しいケースとして注目されている。これは「自然とともに藝術に触れ

合うことができる空間を創造する」という武藤氏ならではの発想が結実したきわめてユニークかつ素晴らしい彫刻園である。

武藤順九氏（高20回）は仙台二高から東京藝術大学美術学部に進み、卒業と同時に渡欧、イタリア・ローマ近郊に拠点をおき世界的に活躍する芸術家である。二〇〇〇年にはバチカン市国のローマ法王宮殿に氏の作品「風の環」が永久設置されるなど、いまや押しも押されぬ世界的彫刻家として活躍している。仙台国際センター前庭の「風の環」も氏の作品であり、さらに二〇二〇年石巻市に整備される東日本大震災復興祈念公園には、武藤氏の作品「3・11 慰霊のモニュメント」が設置される。なお氏が母校の創立百二十周年を記念して寄贈されるモニュメント「CIRCLE WIND 絆」はその縮小版でありきわめて意義深い。

昭島・昭和の森 武藤順九彫刻園

AKISHIMA-SHOWA NO MORI
JUNKYU MUTO SCULPTURE MUSEUM

GRAND OPENING June 9, 2019

創立百二十周年

記念事業の準備状況

二〇一八年十二月十日、同窓会公式HPに「第五回記念事業実行委員会（二〇一八年十一月二十六日に開催）報告」として、それまでの経緯をお知らせしているが、本稿ではそれ以降の進捗状況を併せて報告する。

まずは記念事業の会計関連で、平成三十年度入学生三二一名、平成三十一年度入学生三二〇名から各自二、〇〇〇円の協力を金、それぞれ六四万二〇〇〇円、六四万円もの収入があり、二〇二〇年の入学時の在校生全員から）同額の協力を得られることになっている。なお収入としては、既にご報告している同窓会特別会計からの援助金五〇〇万円と仙台二高の伝統を守る会からの同じく援助金三万五三一四七円とがある。実行委員会としては記念事業の収支を極力この額内で済ませるべく事業計画を進めている。

なお学校側から全生徒用ロッカー整備（約八五〇万円）の要望があり、これを創立百二十周年記念事業の一環として仙台二高奨学会から支援した。また同じく奨学会から、現在県が進めているICT（情報通信技術）教育のハード整備の一部支援も記念事業として計画之中である。

今回もつとも注目すべき記念事業は武藤順九氏（高20回）寄贈の記念モニュメント「CIRCLE WIND」絆」であるが、二〇一八年十月二十五日にその固定台座が学校正面玄関内部に設置され、十月二十七日には武藤氏も来校し見守るなか学校に搬入された。除幕式は二〇一九年六月十一日、十六時から学校玄関内で行われる。

二〇二〇年十一月十三日（金曜日）に催される記念式典の会場は未だ未定（第一候補…東北大学萩ホール、第二候補…仙台サンブラザホール）であるが、記念講演者は昨年日本サッカー殿堂入りを果たした加藤久氏（高27回）に決定した。

式典と同日の十八時から江陽グランドホテルで開催される記念祝賀会は、出席想定者二〇〇人、会費六、〇〇〇（予定）の計画で進めている。祝宴アトラクションのゲストは清貴氏（栗原清貴氏、高53回、歌手）に、司会は伊藤拓氏（高43回、宮城テレビアナウンサー）に決定した。

創立百二十周年史は百周年以降の歴史を学校、PTA、同窓会とが分担して編集準備作業中である。全体で一三三頁、同窓会分は約六二頁になる見込みで、それぞれの分担執筆者に寄稿依頼をするが（原稿締切…二〇一九年九月末日）今後、全部数、無償／有償部

数、予算の概算などなるべく早く決定する。

同窓会員名簿作成委員会（現同窓会員データベース整備委員会）の作業経緯に関しては、本会報の一四頁「同窓会員DB整備」協力をお願い」をご覧頂きたい。その文中にある同窓会員名簿（改訂）発行取りやめはあくまでも記念事業実行委員会での決定であるが、同窓会としても、決まった時点で既に関係各位に対して書状ならびに同窓会公式HP上にて、それに至る説明とお詫びとを済ませている。

第六回実行委員会は、学校やPTAに人事交替があることを考慮し新年度に入ってから開催することにした。

（創立百二十周年記念事業実行委員会）



創立百二十周年記念ロゴマーク
（美術部員 中村 未来さん作）

北陵祭への参加

二〇一八年九月二日（土）二日（日）に開催された母校の文化祭「第70回北陵祭」に、「同窓会の部屋」のブース展示を行いました。今年度も八名の同窓生の皆様の絵画や写真・寄稿文集などの出展のほか、高18回生の有志のご尽力により、絵本作家として活躍中のとよたかずひこ氏の全面協力を頂き、第七回日本絵本賞を受賞した「どんどこももちゃん」を始め、十冊以上の

絵本と原画を展示しました。更に、恒例の仙台二高オリジナルグッズの販売に加え、高67回生の印度カリ子さんのカレースパイアの販売も実施されるなど、たくさんの同窓生・保護者・在校生の方々に来場して頂き、大いに盛り上がったブース展示となりました。

同窓生の皆様、北陵祭は母校を訪れる大変良い機会と考えますので、是非、今年の北陵祭には、多くの同窓生の参観を心よりお待ちしております。

加藤 久さん(高27回) 日本サッカー殿堂入り

同窓生の加藤久さん（高27回）が昨年九月、日本サッカー殿堂入りされました。

二高卒業後、早稲田大学に進み、三年生時から日本代表に選ばれるなど、日本サッカー界の最前線で活躍を続けました。日本リーグの読売クラブ、JリーグのV川崎（現東京V）、清水でプレーし、一九九四年に現役を引退。東日本大震災があった二〇一一年十月から一年間、被災地の子どもを巡回指導するJFA特任コーチを務めました。

殿堂入りを選出する投票で、加藤さんは満票一二三票のうち一〇九票を集めました。



河北新報社提供

二高時代の加藤さんを知るサッカー部OBは、加藤さんが黙々と一人で練習に励む姿を覚えています。加藤さんは、河北新報のインタビューで、個人練習に励んだ塩釜一中、仙台二高時代をサッカーの原点として振り返り「一人で練習することは苦にならなかった。基本となる反復練習を大事にしたのが後に財産になった」と話しています。

支部・OB 会連絡先

● 支 部

団体名称	代表者	事務局(連絡員)	事務局連絡先
N・Y支部	且 英夫 (高20)	且 英夫 (高20)	8 Heritage Lane, Rye, New York 10580 USA, 914-921-0771
ローマ支部	武藤 順九 (高20)	武藤 順九 (高20)	Via del Caravaggio, 20 00047 Marino Roma, ITALIA
北海道支部	若生幸一郎 (中43)	調整中	
青森県支部	新山 龍治 (高22)	新山 龍治 (高22)	〒030-0845 青森市緑2-15-8 017-774-1009
岩手支部	鈴木 恒男 (高5)	橋浦礼二郎 (高23)	〒020-0103 盛岡市西松園1-9-2 019-662-7028
山形北陵会	仙道富士郎 (高9)	粟野 学 (高26)	〒990-2461 山形市旅籠町3丁目2-3 023-631-0001
福島北陵会	阿部 力哉 (高3)	益田 芳幸 (高3)	〒960-0111 福島市丸子字沢目17-2 024-554-5920
在京同窓会	上條 努 (高24)	練生川淳志 (高30)	〒152-0021 東京都千代田区神田淡路町1-1 神田クレストビル304(株)オール・エージェンツ内 03-3527-1955
東海北陵会	佐山 泰弘 (高10)	岩田 繁 (高19)	〒467-0024 愛知県名古屋瑞穂区春山町15-4 101 090-8866-2372
関西北陵会	鈴木 武 (高20)	川橋 公章 (高26)	〒672-8091 兵庫県姫路市飾磨区英賀保駅前町72 プリート202 090-7716-3643
広島支部(休会中)			
九州北陵会	菅原 俊秀 (高10)	黒田 均 (高36)	〒803-0826 福岡県北九州市小倉北区高峰町5-7 090-8866-2372
気仙沼支部	調整中	調整中	
志津川支部	高橋 長偉 (高11)	高橋 長偉 (高11)	〒986-0741 本吉郡南三陸町志津川十日町1 0226-46-2041
石巻・桃生・牡鹿支部	菅原 憲 (高8)	後藤 宗徳 (高29)	〒986-0827 石巻市千石町2-10 石巻グランドホテル気付
加美支部	有馬 恒彦 (高18)	大山 匡 (高23)	〒981-4254 加美郡加美町字北町2-181-1 0229-63-3054
塩釜北陵会	大平 眞悦 (高18)	庄子 文康 (高25)	〒985-0005 塩釜市杉の入3-11-1 022-365-6435
黒川支部北陵会(休会中)			
岩沼支部	四倉 政美(高10) 芳賀 盛(高18)	渡辺 和雄 (高21)	〒989-2461 岩沼市長岡字上根崎2-3 0223-24-1614
亶理会	手戸 雅己 (高15)	手戸 雅己 (高15)	〒989-2351 亶理郡亶理町字五日町 60-1 0223-34-1750
角田支部	未定	湯村 周一 (高22)	〒981-1505 角田市角田字町65 0224-63-1331
登米・栗原・南三陸支部	日野 宏 (高24)	佐藤 豪 (高21)	〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘4-35-5 022-275-2505

● 職 域

団体名称	代表者	事務局	事務局連絡先
仙台市役所北陵会	石川 浩史 (高32)	砂子田 順 (高58)	〒982-0015 仙台市太白区南大野田16-5-307 080-6002-9329
宮城県庁仙台二高養賢会	吉田 計 (高30)	佐藤 仁 (高45)	〒980-8570 青葉区本町3-8-1 宮城県総務部人事課 022-211-2226
仙教委北陵会	高倉 祐一 (高31)		
藤崎北陵会	松原 大介 (高27)		022-261-5111
宮二高会	太郎丸 浩 (高17)	角田 哲 (高26)	〒982-0252 仙台市太白区茂庭台4-23-5 022-281-4182
北陵ドクター倶楽部	山崎 匡 (高12)	鶴飼 克明 (高28)	〒982-0802 仙台市太白区八木山東2-3-7 hokuryo.dr@gmail.com

●クラブ

団体名称		代表者	事務局	事務局連絡先	
青葉倶楽部	硬式野球部	岡崎 正行 (高28)	谷田部達博 (高41)	〒981-3211 仙台市泉区長命ヶ丘東5-4	022-778-3977
仙台二高 軟式野球部OB会	軟式野球部	菊地 房雄 (高18)	福田 瑞久 (高22)	〒980-0014 仙台市青葉区本町2-3-1 江陽グランドホテル内(福田)	022-267-5111
仙台二高 ハンドボール部 北陵会	ハンドボール部	菅間 進 (高21)	中鉢 貴省 (高48)	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-12-12 GMビルディング9F	022-796-9411
仙台二高 バスケットボール部 北陵会	バスケットボール部	西嶋 康雄 (高21)	佐藤 宣男 (高16)	〒981-0961 仙台市青葉区桜ヶ丘1-3-15	022-278-7458
仙台二高 バスケットボール部 東京北陵会	バスケットボール部	太田 一彦 (高23)			
仙台二高 サッカー部OB会	サッカー部	庄司 正春 (高21)	丸森亮太郎 (高50)	〒980-0873 仙台市青葉区広瀬町2-5	022-223-1221
仙台二高ラグビー部 OB会	ラグビー部	本吉 和康 (高11)	桂島 猛 (高34)	〒981-3332 富谷町明石台5-41-1	022-776-1364
北陵騎士の会	フェンシング部	小栗 康次 (高13)	秋保 茂樹 (高32)	〒021-0866 岩手県一関市南新町55	0191-32-5105
	ヨット部	未定	奥野 誠也 (高22)	〒981-1304 志田郡松山町千石本丸49桃源院	090-6149-0002
仙台二高スキー部 北陵会	スキー部	前田 弘毅 (高28)	斎藤 雅人 (高34)	〒981-0953 仙台市青葉区西勝山7-2	022-719-3282
仙台二高陸友会	陸上競技部	宮崎 幹男 (高12)			022-287-3901
仙台二高北陵柔道会	柔道部	佐々木優登 (高16)	鈴木 裕 (高27)	〒984-0836 青葉区新坂町3-19	022-271-3682
仙台二高剣道部 OB会	剣道部	菅野 敦 (高41)	手嶋 泰伸 (高54)	〒989-8007 仙台市泉区虹の丘2-4-13	090-4550-8041
仙台二高弓道部 OB会	弓道部		山口 哲男 (高20)	〒980-0804 仙台市青葉区大町2-15-40	022-223-1618
仙台二高OB山の会	山岳部	三浦 康宏 (高31)	三浦 康宏 (高31)	〒981-3362 富谷町日吉台1-3-2	022-358-9452
仙台二高 バドミントン部OB会	バドミントン部	未定	穴戸 義一 (高22)	〒981-0952 仙台市青葉区中山7-14-8	022-278-4448
仙台二高 卓球部北陵会	卓球部	鈴木 登 (高17)	伊藤 一郎 (高25)	〒983-0826 仙台市宮城野区鶴ヶ谷東3-14-19	022-252-4216
バレーボール部 北陵会	バレーボール部	佐野 崇 (高4)	阿部広太郎 (高40)	〒982-0011 仙台市太白区長町3-4-16-1001	022-308-3551
宮城県 仙台第二高等学校 合気道部同窓会	合気道部	岡崎 信 (高20)	吉田 信彌 (高22) 進藤 遼 (高60)	〒980-8631 仙台市青葉区川内澁橋通1番地 宮城県仙台第二高等学校 合気道部顧問担当教諭気付	022-221-5626 (仙台二高) 0224-25-0024
仙台二高 空手部OB会	空手部				
仙台二高応援団 幹部OB会	応援団	田中於菟彦 (高15)	田中於菟彦 (高15)	〒986-0912 仙台市青葉区天守台 青葉城本丸会館	022-222-0218
二吹会	吹奏楽部 (ブラスバンド部)	松永 雄治 (高12)	但木 均 (高22)	〒981-0912 仙台市青葉区堤町1-1-1-1201	090-4044-1234
	演劇部	西條 昭将 (高15)	西條 昭将 (高15)	〒191-0053 東京都日野市豊田2-3-12	042-583-4997
	写真部	伊勢 隆一 (高19)	伊勢 隆一 (高19)	〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-6-32	022-222-1720
	体操部	鈴木 孝 (高24)	鈴木 孝 (高24)	〒985-0072 塩釜市小松崎9-27	090-9637-8652

※他の運動部、文化部の情報をお寄せください。

【連絡先】 仙台二高同窓会事務局 〒980-8631 仙台市青葉区川内澁橋通1
 担当 佐々木恵理 TEL/022-221-5651 FAX022-221-5686
 月・水・金 10:00~15:00 Eメール/info@sendainiko-dousoukai.com
 同窓会ML/nikodousoukai@googlegroups.com(詳しくはp32)

同 窓 会 員 D B 整 備 ご 協 力 の お 願 い

1 同窓会員データベース（以下「DB」）について

同窓会では、同窓会員から提供された個人情報、外部には出すことのないデータベース（DB）として、外部ネットワークに繋いでいない同窓会事務局のパソコンにて保管・管理し、同窓会の活動・連絡、同窓会員同士の親睦や交流の活性化のために活用させていただいています。

また、後記のとおり、同窓会DB取扱規約を定め、その運用を厳格に行っています。

2 同窓会名簿（以下「名簿」）発刊中止の経緯とお詫び

同窓会DBとは別に、従来、同窓会員の「名簿」を発刊・頒布しており、今回の120周年記念事業の一環としても、DBを基にして会員個々に掲載事項の同意を得た上で「名簿」を発刊・頒布することを企画しておりました。

しかしながら、皆様ご承知のとおり、2003年に施行された個人情報保護法下、昨今その意識が益々高まり、多くの同窓会員とりわけ若年層の会員から、個人情報が外部に漏れる可能性が大いにある「名簿」の発刊に強い疑義の声が挙がりました。

以上を受けて、理事会としては慎重に議論を重ね、また複数の同窓会役員経験者／全国支部会責任者／現評議員各位からのご意見にも耳を傾けた結果、賛否両論の正当性では否が賛を大幅に上回ると判断しました。

今回の記念事業の企画を決定する実行委員会でも協議し、学校やPTAからも同窓会と同一の総意が示されたことから、今回の120周年記念事業の企画から名簿の発刊・頒布を取り下げることに決定いたしました。

皆様には、この結論についてご理解とご了解とを頂きたくお願い申し上げますとともに、あらためて深くお詫びいたします。

3 同窓会員データベース整備のご協力をお願い

しかるに同窓会員DBの重要性が変わるものではありません。今後の同窓会活動の継続的な発展、充実、活性化にとってその重要性は更に増すものと考えます。

従いまして、「同窓会員名簿作成委員会」を「同窓会員データベース整備委員会」と改称し、120周年記念事業企画の一環として、今後とも皆様のご協力を得て、更にDBの整備・充実を図りたいと思っています。

言うまでもありませんが、今回の同窓会員名簿改訂委員各位のご協力により得られた成果はDBの整備に十分に活かされ、今後の同窓会活動に資する貴重な財産として残ることになります。そのご尽力には心から深く感謝いたしますとともに、今後ともご協力のほどをよろしくお願いいたします。

また、一般の同窓会員の皆様におかれましても、DBの情報を最新の状態としておくことで、同窓会からのご連絡や同窓会報のご送付、各種企画のご案内を差し上げることができまので、ご住所やご連絡先の変更等があった場合は、事務局まで、あるいは同窓会公式HP上の「同窓会員登録フォーム」にてご連絡下さるようお願いいたします。

【同窓会DB取扱規約】

仙台二高同窓会会員データベース（以下「DB」という。）の管理・運営は下記のとおり。

1 DBの範囲

同窓会は、以下の会員の個人情報について、DBとして管理・運営する。

- (1) 氏名（旧姓を含む）
- (2) 卒業回期・卒業年
- (3) 在校時の所属部活・クラブ・同好会
- (4) 自宅住所（海外居住の場合、連絡先住所を含む）
- (5) 自宅電話番号
- (6) 携帯電話番号
- (7) E-mail アドレス

2 利用目的

仙台二高同窓会の活動・連絡、同窓会会員同士の親睦や交流の活性化を目的とする。

3 管理・運営の方法

- (1) 同窓会は、卒業時または適宜に同窓会員の同意を得て取得した第1項の個人情報を、仙台二高同窓会事務室内に設置したパソコンで保管・管理する。

- (2) 前号のパソコンは、インターネットに接続しないものとし、同窓会理事及び事務局、同窓会理事会にて承認を受けた者のみが接することができるものとする。
- (3) 同窓会は、DBの個人情報を、同窓会の会員数及び連絡先の管理、同窓会報等の送付、同窓会会員同士の親睦や交流の活性化のための情報提供等、第2項の利用目的に従って利用・運営する。

4 個人情報の削除、更新・訂正

- (1) 同窓会は、会員本人から、DBで管理されている自身の個人情報の開示の請求を受けたときは、会員本人であることを適宜の方法で確認した上で、当該個人情報を開示するものとする。
- (2) 同窓会は、会員本人（逝去等の場合は家族ないし親族を含む）から個人情報の削除、更新・訂正の請求を受けたときは、当該個人情報を削除、更新・訂正する。
- (3) 同窓会は、本人以外の同窓会員、第三者等からの情報提供があったときは、会員本人に確認の上、当該個人情報を更新・訂正する。

5 会員への情報提供

- (1) 同窓会は、個人情報の保護に関する法律に規定されている場合及び下記の場合を除き、あらかじめ会員本人の同意を得ないで、DBで管理されている個人情報を第三者に提供しない。
 - ア 法令に基づく場合
 - イ 人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき
 - ウ 公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の促進のために特に必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき
 - エ 国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき
- (2) 同窓会は、次号の同窓会員への情報提供を除き、第三者からの情報提供の申請には応じない。
- (3) 同窓会は、同窓会員（同窓会支部会、部活OB・OG会及びこれに準ずる団体を含む）から、他の同窓会員の情報提供の申請があったときは、①申請のあった者が同窓会員であることの確認、②当該個人情報の利用が第2項の利用目的に従うものであることの確認、③情報提供にかかる同窓会員本人の同意を経た上、当該個人情報を提供することができるものとする。

6 その他

その他DBの管理・運営に必要な事項は、適宜、本規約を変更し、同窓会ホームページ等で会員に通知する。

同窓会員からの問い合わせへの事務局の対応について

「同窓会では、同窓会の活動・連絡等の目的のため、同窓会会員データベース（以下「DB」という。）の管理・運営を行っていますところ、同窓会員の皆様から、同窓会員同士の親睦や交流、支部活動、同期会、訃報等の際に、DBで管理されている情報へのお問い合わせをいただくことがあります。

同窓会DB取扱規約及び個人情報保護法（個人情報の保護に関する法律）に則り、事務局では下記のとおりお問い合わせに対応させていただいています。

DBの適正かつ厳格な管理を図るものですので、今後とも会員の皆様のご理解とご協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

(1) 会員本人の情報について

お問い合わせいただいた方が、会員本人（逝去等の場合は家族ないし親族を含む）であることを適宜の方法（本人情報又は証明書類の照合など）で確認させていただいた上で、開示させていただきます。

(2) 本人以外の同窓会員の情報について

- ① お問い合わせいただいた方が、同窓会員であることを適宜の方法（本人情報又は証明書類の照合など）で確認させていただきます。
- ② 開示の目的が同窓会DB取扱規約第2項の利用目的（同窓会の活動・連絡、同窓会会員同士の親睦や交流の活性化）に従うものであることを確認させていただきます。
- ③ 情報提供にかかる同窓会員本人にご連絡をし、開示の同意が得られた場合、同意の範囲で当該個人情報を開示させていただきます。

2019年度 年間行事予定

4月8日	月	13:30	入学式	仙台二高講堂
4月24日	水	8:50	大運動会(活動助成)	仙台二高校庭
5月11日	土	17:00	定期戦祝勝会	青葉城本丸会館
5月18日	土	16:00	同窓会評議員会	江陽グランドホテル
5月19日	日	9:06	対一高同窓会ゴルフ対抗戦	東蔵王ゴルフ倶楽部
6月1日	土		同窓会報第52号発刊	
6月11日	火	16:00	武藤順九氏寄贈記念モニュメント除幕式	仙台二高玄関
7月6日	土	17:00	総会 ※案内参照	江陽グランドホテル
8月31日	土		北陵祭	
9月1日	日		北陵祭 同窓会ブース開設	
12月1日	日		ニュースレター第6号発刊	
1月24日	金	18:00	P T A同窓会合同新年懇親会	江陽グランドホテル
2月28日	金	10:00	同窓会入会式	仙台二高講堂
3月1日	日	10:00	卒業式	仙台二高講堂

◆定期戦祝勝会やゴルフ対抗戦などのイベントは、時期が近づくとホームページやメール等でご案内をします。

◆支部会、OB会、同期会等についてはホームページに掲載しています。

<理事会> ※原則第3水曜日 18:30 北陵館

4/17, 5/8, 6/19, 7/17, 8/21, 9/18, 10/16, 11/20, 12/18, 1/15, 2/19, 3/18

評議員名簿

回期	氏名	回期	氏名	回期	氏名	回期	氏名
中44	石井 敏夫	高16	植田 俊之	高32	竹田 幸司	高61	泉 聖也
中46	桃生 和夫		坂本 正憲		伊達 久	高62	添田 敏寛
中47	佐々木一弘	高17	佐藤 裕洋	高33	松谷 秀則	高63	佐久間俊平
	坂田 正雄		高橋 賢		結城 道広	高64	深松 栗
高2	朝倉 亮	高18	梅津 瑠三	高34	大泉 義典	高65	徳永 航平
	吉田 敏樹		前野 文男		千葉 敏彦		佐渡 恵奈
高3	安達 剛	高19	遠藤 謙治	高35	今野 明典	佐藤 泰史	
	高橋 正道		庄子 友康	高36	柳 雅裕	高66	坂元 宏司
高4	毛呂 達夫	高20	中島 俊和		首藤 雅浩	高67	鈴木 麻優
高5	菅原 正人		半田 賢	高37	木村 光博	高68	齋藤 樹
	高橋 清人	高21	内藤 清秀		天江新太郎		大山 遼
高6	鈴木 文夫		吉田憲三郎	高39	日下 開	舟生佳奈子	
	土岐 満夫	高22	菊田 健三	高40	内田 靖	高69	生田目誉也
高7	藤野 尚之		熊谷 晴樹		酒井 紀章	高70	尾形 眞美
高8	奥山 隆生	高23	大友 史祥	高41	菅沼 恵一		菊地 雅子
	後藤 潮		小野寺満明		利 大作	荒井 直人	
高9	相澤美智雄	高24	沼倉 和彦	高43	渡邊 勝宏	高71	加藤 広大
	石田 武彦	高25	斎 基之	高44	田所 直希		阿部 柚佳
高10	佐野 伸義		原 敏紀	高46	小野 光利		
	四倉 政美	高26	木村 清	高47	八谷 豊		
高11	鈴木 邦夫		角田 哲	高48	武田 力也		
	高石 祥二	高27	高橋 芳郎	高49	落合 和希		
高12	米竹 隆		千葉 宏	高50	高田 雄史		
高13	菅野 昭雄	高28	鶴飼 克明	高53	橘 大介		
	高橋 和男		岡崎 正行	高54	栗原 慶太		
高14	磐井 裕	高29	稲辺 和彦	高58	三嶋 廣人		
	笹氣光寿郎		永見 幸久	高59	相場 峻		
高15	近藤 尚武	高30	渡邊 善夫	高60	蔡 優広		
	松川 好孝	高31	太田 康裕		柴又 賢史		

◆評議員が2名制になっています

平成25年度の総会後から、各回期の評議員が2名となりました。まだ選出されていない回期の方は、お早めに選出いただき、事務局までご一報下さい。

評議員会 報告

令和元年度第一回評議員会
令和元年五月十八日(土)
十六時

◇会長挨拶 大井会長
◇議長選出 太田 康裕氏

(高31回)

◇協議
第一号議案

平成三十年度事業報告(承認)
第二号議案

平成三十年度収支決算報告・
監査報告(承認)

第三号議案

令和元年度事業計画案(承認)
第四号議案

令和元年度収支予算案(承認)
第五号議案

役員改選(承認)

◇連絡・報告
・評議員の活性化
・創立百二十年周年記念事業
◇閉会挨拶 山田 信一副会長

理事会等 記録

平成三十年六月二十日(水)

- ・ 定例評議員会総括
- ・ 総会資料整理
- ・ 支部会出席者の制限について
- ・ 同窓会メンバーリスト内規について
- ・ 支部会(地域/職域)、OB会への会員名簿提出依頼について

- ・ 評議員会議長交替について
- ・ 二・一高ゴルフ定期戦世話人選考について
- ・ 公式サイトより直接住所登録、変更ができるページの新設
- ・ 巨理支部会報告

平成三十年七月十八日(水)

- ・ 平成三十年度定例総会総括
- ・ 北陵祭の準備について
- ・ 支部会出席者数の制限について
- ・ 同窓会メンバーリスト内規について
- ・ Webサイトからの同窓生情報登録について
- ・ HPへの情報発信スピード

創立百二十年周年記念事業実行委員会からの報告

- ・ 巨理、岩手支部会、九州北陵会報告
- ・ 支部会、OB会からの名簿提出
- ・ サッカー部一〇五周年記念行事
- ・ 養賢会、北陵ドクター倶楽部総会

平成三十年八月二十二日(水)

- ・ 平成三十年度北陵祭打ち合わせ
- ・ 名簿改訂委員への作業費用請求
- ・ HP関連、住所変更コーナーと情報発信スピードアップの件
- ・ 創立百二十年周年記念事業準備作業進捗状況
- ・ 寄付金礼状の件
- ・ 地方会、OB会名簿提出礼状
- ・ サッカー部創部一〇五周年記念祝賀会の件
- ・ 岩沼、山形支部会、北陵ドクター倶楽部報告

平成三十年九月十九日(水)

- ・ 平成三十年度北陵祭総括

- ・ 北陵ニュースレターについて
- ・ 事務員の時給について
- ・ HP情報発信スピード
- ・ 平成三十年度総会第一回打ち合わせの件
- ・ 支部、職域、クラブ一覧確認
- ・ 北陵祭慰労会
- ・ 山形北陵会報告

平成三十年十月十七日(水)

- ・ 平成三十年度PT同懇について
- ・ 北陵ニュースレターの業者変更と進捗状況
- ・ 北陵祭アンケート結果と次回予定
- ・ 慶弔規定、不祝儀の見直し
- ・ 名簿委員への作業費請求の件
- ・ 武藤順九氏寄贈記念モニュメント台座設置工事の件
- ・ 各支部会出席者確認
- ・ 河北新報記事「蔵王遭難事故」

平成三十年十一月二十一日(水)

- ・ 平成三十一年度PT同懇の件
- ・ 第五北陵ニュースレター&同封資料
- ・ 同窓会会員名簿発行/頒布について
- ・ オダトモスケ氏の朗報扱い
- ・ 同窓会紹介パワーポイントの件
- ・ Webサイト行事予定新設の件
- ・ 同窓会名簿発行について
- ・ 西澤潤一前会長の追悼会の件
- ・ 武藤順九氏寄贈記念モニュメント設置及び今後の予定
- ・ 在京、岩手、塩釜同窓会報告
- ・ 支部会、職域会出席者確認

平成三十年十二月十二日(水)

- ・ 平成三十一年度PT同懇進捗

- ・ パワーポイントの進捗状況
- ・ 事務局パソコン、コピー機購入
- ・ 平成三十一年度評議員会日程
- ・ 山野辺太郎氏の文藝賞の扱い
- ・ 第五回創立百二十年周年記念事業実行委員会報告
- ・ 同窓会名簿発行中止後の作業
- ・ 西澤潤一先生追悼の会
- ・ 職域支部会報告

平成三十一年一月十六日(水)

- ・ 平成三十年度PT同懇準備
- ・ 同窓会入会式について
- ・ 事務局コピー機見積もり検討
- ・ HP同窓会登録フォーム名称
- ・ Webサイトへの「行事予定の掲載」について
- ・ 卒業記念品について
- ・ Webサイトのトップ写真の件
- ・ 西澤潤一氏追悼の会報告
- ・ 北陵ニュースレター最終支払いの件
- ・ 職域、支部会出席者の確認

平成三十一年二月二十日(水)

- ・ 同窓会入会式の確認
- ・ HPトップページの写真の件
- ・ Webサイト行事予定掲載の件
- ・ 同窓会員問い合わせに対する事務局の対応方法
- ・ PT同懇の総括、土曜日開催
- ・ 事務局コピー機の選択
- ・ 卒業式の件
- ・ 養賢会報告
- ・ 奨学会の現状

平成三十一年三月二十日(水)

- ・ 同窓会入会式、卒業式の同窓会関連事項総括

- ・ 事務局コピー機の選択について
- ・ 同窓会員からの問い合わせへの事務局の対応について
- ・ (未整備)のHP上の同窓会行事コーナーについて
- ・ 来年度の北陵祭の方針について
- ・ 関西北陵会の報告
- ・ 事務局員の労働契約書の締結

平成三十一年四月十七日(水)

- ・ 定例評議員会の議題整理
- ・ 同窓会員からの問い合わせへの事務局の対応について
- ・ クッキー売上金の有効利用の件
- ・ 五十二号同窓会報編集作業の件
- ・ 校内幹事と理事会との懇談・懇親会開催について
- ・ 大運動会クイズ提案
- ・ 「支払承認伺」について
- ・ 百二十年周年史原稿伺について
- ・ 理事会役員改選について
- ・ 二高・一高同窓会ゴルフ対抗戦観戦会報告
- ・ 且英夫NY支部長を囲む会報告

令和元年五月八日(水)

- ・ 五十二号同窓会報編集進捗状況、特に会費、寄付納入者リストについて
- ・ 定例評議員会の議題、資料整備
- ・ 二〇一八年決算案、二〇一九年予算案
- ・ Webサイトへの同窓会員DBの回期別整備状況掲載について
- ・ 大運動会の報告
- ・ 宮歯二高会、九州、栗原・登米・南三陸、岩手支部会の参加者について

一般会計 2018年度収支決算・2019年度予算（案）

（2018年4月1日～2019年3月31日）

（単位：円）

区 分	項 目	予算額 (A)	実績額 (B)	(B) - (A)	次年度予算額	
収 入	前年度繰越金	5,799,892	5,799,892	0	7,899,476	
	年会費	9,500,000	8,496,000	△ 1,004,000	9,500,000	
	(イ)	(3,167人)	(2,810人)	(△ 357人)	(3,167人)	
	(イ÷ロ)	年会費納入率	21.8%	19.6%		21.8%
	入会金	1,100,000	1,119,600	19,600	1,100,000	
	(納入者数)	(306人)	(311人)	(5人)	(306人)	
	受取利息	0	20	20	0	
	寄附金	1,000,000	3,838,500	2,838,500	3,000,000	
	名簿等売上金	0	2,000	2,000	0	
	その他収入	100,000	133,740	33,740	100,000	
	特別会計受入金	0	0	0	0	
	収入合計 (C)	17,499,892	19,389,752	1,889,860	21,599,476	
	支 出	同窓会報発行費	3,900,000	3,940,474	40,474	4,200,000
(発行通数)		(14,500通)	(14,318通)	(△ 182通)	(14,500通)	
ニュースレター発行費		1,700,000	1,747,349	47,349	1,800,000	
(発行通数)		(14,500通)	(14,221通)	(△ 279通)	(14,500通)	
校内活動助成費		1,350,000	1,220,000	△ 130,000	1,350,000	
卒業記念品		550,000	507,585	△ 42,415	550,000	
総会旅費補助		150,000	135,670	△ 14,330	150,000	
総会補填		300,000	68,908	△ 231,092	300,000	
(出席者数)		(150人)	(115人)	(△ 35人)	(150人)	
P 同懇補填		200,000	52,932	△ 147,068	200,000	
(出席者数)		(130人)	(146人)	(16人)	(130人)	
支部総会等旅費		500,000	505,548	5,548	600,000	
支部総会等祝儀		350,000	320,000	△ 30,000	350,000	
会議費		300,000	212,482	△ 87,518	300,000	
慶弔費		200,000	267,800	67,800	200,000	
人件費		700,000	715,994	15,994	900,000	
事務消耗品費		120,000	104,742	△ 15,258	120,000	
切手葉書送料		200,000	65,870	△ 134,130	200,000	
電話料		180,000	174,129	△ 5,871	180,000	
振込手数料		400,000	354,906	△ 45,094	400,000	
設備費		50,000	19,585	△ 30,415	250,000	
雑費		60,000	40,305	△ 19,695	60,000	
同窓会活性化対策費		600,000	572,850	△ 27,150	650,000	
特別会計繰入	463,147	463,147	0	0		
予備費	5,226,745	0	△ 5,226,745	8,839,476		
支出合計 (D)	17,499,892	11,490,276	△ 6,009,616	21,599,476		
次年度繰越金	(C) - (D)	0	7,899,476	7,899,476	0	
預金等残高 (2019.3.31)	現金(事務局)		37,240			
	現金(事務所)		51,097			
	現金(会計)		124,682			
	普通預金(七十七)		1,872,644			
	郵便振込(泉南中山)		2,462,953			
	郵便振込(宮町)		3,441,580			
	未払金		△ 90,720			
	差引合計		7,899,476			

特別会計 2018年度収支決算（案）

（2018年4月1日～2019年3月31日）

（単位：円）

区 分	項 目	実 績 額 (B)
収 入	前年度繰越金	13,793,272
	預金利息	437
	一般会計受入	463,147
	収入合計 (E)	14,256,856
支 出	旗製作費	62,316
	旗送料	0
	振込手数料	1,404
	120周年記念事業拠出金	5,353,147
支出合計 (F)	5,416,867	
次年度繰越金	(E) - (F)	8,839,989
預金等残高 (2019.3.31)	普通預金(七十七銀行)	8,839,989
	差引合計	8,839,989

会費納入
について

会費納入のお願い

昨年度の会費納入額は八五〇万円と目標額九五〇万円に届かず、前年度の実績八五四万円を若干下回る結果となりました。会費納入者数の減少幅は相当縮小したものの、五年連続での減少となります。寄付に依拠する状況に変わりなく、会費納入者数の増加は依然として重要課題となっております。同窓会は『会員相互の親睦を図る』と共に『母校の発展に寄与する』ことを目的として、今年度も同窓会報・北陵ニュースレターの発行、

同窓会総会・PTA同窓会合同新年懇親会の開催、全国各支部との交流、北陵祭でのブースの開設、ホームページの充実などに取り組み同窓会の一層の活性化を図ります。また、入学祝い品・卒業記念品の贈呈、大運動会開催やクラブ活動に対する助成を行い、在校生が母校に誇りを持ち、文武一道を目指すことを支援します。こうした活動の原資となるのが、皆様から納入いただいている同窓会費です。理事会としては、今後も引き続き同窓会の活性化に取り組み所存ですので、できるだけ多くの皆様に会費を納めていただくようお願いしたいと考えております。身近の会員相互にお声かけをいただき、会費納入促進にご協力をお願い申し上げます。

【寄付のお願い】

理事会としましては、同窓会の財政状況に関連し謹んで以下のお願いをさせていただきます。

平成25年度をピークに近年中の会費納入額は低迷しており、同窓会活性化と母校支援の積極的な取り組みがいずれ制約される可能性があります。つきましては、皆様に本活動の継続をご理解いただき、年会費とあわせて寄付のご協力を賜りたく存じます。

皆様のご協力を謹んでお願い申し上げます。

【納入方法】

会報に同封した払込取扱票をお使いください。また下記の銀行口座にお振込みいただいても結構です。その際は振込手数料を差し引いていただき、振込人名義に数字の1又は2から始まる7ケタの会員番号+お名前をご記入いただきますようお願い致します。

【振込先】

◇七十七銀行 芭蕉の辻支店 普通口座
口座番号 0097845
宮城県仙台第二高等学校 同窓会
会長 大井 龍司

2018年度 同窓会費納入状況

回期	口数	入金額(円)	会報 発送数
中 39	1	3,000	1
中 40	2	6,000	7
中 41	6	18,000	14
中 42	9	27,000	17
中 43	5	15,000	20
中 44	11	33,000	34
中 45	5	15,000	33
中 46	12	36,000	45
中 47	13	39,000	41
高 1	11	33,000	58
高 2	28	84,000	87
高 3	49	147,000	108
高 4	61	183,000	132
高 5	47	141,000	128
高 6	57	171,000	145
高 7	43	129,000	122
高 8	53	159,000	160
高 9	58	174,000	173
高 10	76	228,000	192
高 11	84	252,000	193
高 12	68	204,000	210
高 13	52	156,000	197
高 14	76	228,000	202
高 15	71	213,000	201
高 16	65	195,000	214
高 17	81	243,000	213
高 18	87	261,000	224

回期	口数	入金額(円)	会報 発送数
高 19	61	183,000	177
高 20	56	174,000	178
高 21	77	231,000	230
高 22	87	261,000	260
高 23	65	195,000	194
高 24	55	165,000	182
高 25	61	183,000	205
高 26	56	168,000	223
高 27	48	144,000	208
高 28	58	174,000	202
高 29	32	96,000	173
高 30	35	105,000	177
高 31	31	93,000	170
高 32	38	114,000	183
高 33	41	123,000	192
高 34	33	99,000	182
高 35	39	117,000	192
高 36	36	108,000	184
高 37	26	78,000	187
高 38	21	63,000	176
高 39	31	93,000	179
高 40	37	111,000	215
高 41	24	72,000	215
高 42	12	36,000	198
高 43	14	102,000	179
高 44	15	45,000	176
高 45	17	51,000	204

回期	口数	入金額(円)	会報 発送数
高 46	27	81,000	200
高 47	27	81,000	205
高 48	13	39,000	207
高 49	15	45,000	199
高 50	10	30,000	177
高 51	10	30,000	180
高 52	13	39,000	174
高 53	13	39,000	184
高 54	18	54,000	206
高 55	15	45,000	186
高 56	11	33,000	196
高 57	12	36,000	207
高 58	13	39,000	203
高 59	14	42,000	212
高 60	21	63,000	222
高 61	13	39,000	221
高 62	19	57,000	222
高 63	24	72,000	234
高 64	19	57,000	253
高 65	28	84,000	288
高 66	31	93,000	268
高 67	25	75,000	279
高 68	48	144,000	300
高 69	46	138,000	296
高 70	80	240,000	291
不明	8	24,000	348
合計	2,810	8,496,000	

各理事会務分担

部 門 及 び 会 務 内 容	担 当 理 事
会 長	大井 龍司 (高 10 回)
副 会 長 (会計統括)	山田 信一 (高 17 回)
副 会 長 (広報・活性化統括及び会報担当)	阿部 孝一 (高 26 回)
副 会 長 (総務及び北陵祭統括)	谷口 秀樹 (高 27 回)
理 事 (同窓生データベース及び活性化担当)	鈴木 誠一 (高 22 回)
理 事 (同窓生データベース統括)	山口 信也 (高 23 回)
理 事 (活性化担当・同窓会旗統括)	宮内 昭穂 (高 25 回)
理 事 (総務担当)	加藤 幹夫 (高 26 回)
理 事 (会報担当)	高橋 敦 (高 30 回)
理 事 (総務担当)	渡邊 博之 (高 31 回)
理 事 (会報担当)	菊地 徹 (高 35 回)
理 事 (会報統括及び活性化担当)	遠藤 康浩 (高 41 回)
理 事 (会報及び広報担当)	大張 慎悟 (高 48 回)
会計理事 (出納及び決算担当)	菅谷 俊貴 (高 54 回)
会計監事	安藤 裕 (高 18 回)
会計監事	小関 眞 (高 23 回)
事務局長	鈴木 利明 (高 31 回)
事 務 局	佐々木恵理

2019年度 同窓会総会のご案内

1. 日 時：2019年7月6日（土） 総 会17時00分（受付開始は16時30分）
講 演17時45分 懇 親 会19時

2. 場 所：江陽グランドホテル<<地下鉄南北線広瀬通駅下車 西1番出口徒歩0分>>

3. 懇親会費：6,000円（学生の方は2,000円）

4. 申込締切：6月27日（木）

★懇親会費は当日、会場でお支払い下さい。

★出席申し込みは、下記の申込先へ電話、FAXまたはEメールをお願いします。

5. 申 込 先：〒980-8631 仙台市青葉区川内澱橋通1

仙台二高同窓会事務局（月・水・金 10：00～15：00）

TEL 022-221-5651 FAX 022-221-5686

Eメール info@sendainiko-dousoukai.com

6. 当番回期：高30、31、42、43、54、55回

上記回期の方々は、評議員・常任委員を中心にご協力をお願いいたします。

7. 関連企画

★講演

演題「河北新報で振り返る宮城の平成（仮題）」

講師 高橋 敦さん

（高30回：河北新報社 編集局 紙面管理部長）

★母校案内ツアー

（当日の総会前に実施：母校正面玄関前15時集合）

同期会の方、クラブの方、お誘いあわせの上、
多数ご参加ください。

今年の同窓会総会には、回期・支部・
サークルOB会の旗を持って参加しよう！

☆PTA・同窓会
合同新年懇親会のご案内☆

2020年1月24日（金）18時

会場は例年通り、
江陽グランドホテルで調整中です。

平成三十一年度 同窓会入会式

平成三十一年二月二十八日(木)午前十時より仙台二高講堂において平成最後となる三十年度同窓会入会式が行われ、高71回生三十一名を同窓生として迎え入れました。このように盛大に入会式を行うのは仙台二高特有の公式行事でもあり、同窓会からは七名の評議委員を含む総勢十名の方が出席致しました。

初めに今回から導入されたパワーポイント(製作責任者山田副会長)を使用し、同窓会の活動状況を遠藤理事(高41回)から紹介されました。画像と活字を見ながら、より分かり易く説明され、皆



今回よりパワーポイントを使用した説明(説明者 遠藤理事)

さんは興味深く聞き入っておりました。特に同窓会組織自体が国内

では北は北海道から南は九州まで全国を網羅し、又海外でもN.Y等の拠点があり、充実している支部会ネットワークに驚嘆の声が上がっております。

大井会長から、これからはお世話になった仙台二高に対し、後輩を思いやる気持ちを持ち、同期会を立ち上げて母校へのバックアップ体制を築き、同窓生としての責務をしっかりと果たして欲しいとお話がありました。その後鈴木事務局長から、年会費の納入、同窓会員データベース整備などの協力要請がありました。

大井会長より卒業記念品、同窓会旗の贈呈がありその後評議委員、常任委員の委嘱がありました。そして新評議委員の加藤広大



大井会長挨拶

氏(高71回)より力強い決意表明がありました。

更に恒例の応援団長によるエールと校内幹事の先生方の紹介、挨拶があり、最後に新同窓生の入会を祝すと共に、母校の発展を祈念して会を締めくくりました。

在籍生徒数 2019年 4月 1日 現在
普通科 1学年 8クラス(定員320名)

	男子	女子	計
1 学年	187	133	320
2 学年	187	133	320
3 学年	189	130	319
計	561	398	959

平成三十一年度 第71回卒業式

平成三十一年三月一日(木)午前十時から仙台二高講堂において、平成時代の最後となる平成三十年度卒業式が挙行され、高校71回生として三十一名が卒業を迎えました。

久保校長の式辞と大井同窓会長による祝辞において、仙台二高は人材の産地であるとの先達の言葉が紹介され、仙台二高卒業生として自信と誇りを胸に社会で活躍できる人材になって欲しいとの言葉が贈られました。

卒業生による答辞では、入学時に仙台二高の精神性の高さや校風に接し期待感と不安感を覚えたこと、三年間を振り返り、お世話になった先生方職員の皆様、保護者に加え同窓会からの支援への感謝が述べられました。

在校生代表による送辞から校歌斉唱と続き、閉式の辞の直後には毎年恒例となった卒業生の応援団長が登壇しての全員による「雨か嵐か」を謳い、感動のうちに散会となりました。



卒業証書授与の様子

平成三十一年度 入学式

平成三十一年四月八日(月)、桜が咲き誇る中、仙台二高体育館において、仙台二高入学式が挙行されました。

三三〇名のういしい新入生を迎えて、久保義洋校長、大井龍司同窓会会長、一力敦彦PTA会長から格調高い御挨拶がございました。ご入学誠におめでとうございます。



入学式

定期戦

硬式野球優勝!

硬式野球の定期戦は五月十一日、晴天の楽天命命パークで行われ、二高が8-2で快勝しました。三年ぶりの優勝に、二高側が喜びを爆発させました。戦後の優勝回数は、一高とタイの32回（引き分け9回）となりました。

二高は序盤の2回裏、先頭打者の左翼線二塁打を皮切りに、相手エラーや安打で4点を先制。5回に2点本塁打で5-2と迫られましたが、その裏にすぐ、3安打を集中して3点を奪い突き放しました。守っては、先発投手が4回まで零封し、後半は小刻みな継投で2点だけに抑えました。

スタンドの応援団は昨年、一昨年と負けているとあって、必死の応援を繰り広げました。歓喜の試



合終了を迎えると、各所に散らばった同窓生を含め、二高陣は興奮のつぼと化しました。閉会式では優勝旗、優勝カップが二高の選手たちの手中に。スタンドでは、勝利の歌などを高らかに歌い上げ、優勝を喜び合いました。

3部定期戦結果速報

試合結果

男子バスケットボール	二高	58-62	一高	<負け>
柔道	二高	0-3	一高	<負け>
男子バレーボール	二高	0-3	一高	<負け>
女子バスケットボール	二高	21-33	一高	<負け>
女子バレーボール	二高	21-25	一高	<負け>

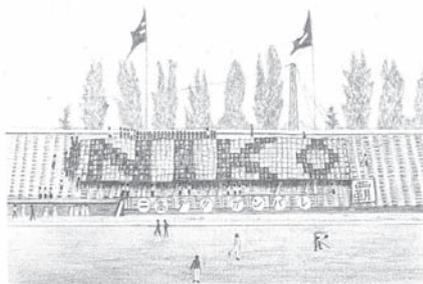
(会場:一高)

叙勲受章者

- 旭日重光章
浅野 史郎殿(高18回)
- 旭日小受章
川村 人志殿(高13回)

定期戦祝勝会

令和元年五月十一日(土)、硬式野球定期戦祝勝会が青葉城本丸会館にて開催されました。同窓会と応援団OB会との「合同祝勝会」も今年度で七回目を迎えました。



在学時の二・一高野球定期戦の一文
作者:高26回 佐藤健二(旧姓 貝山)

戦の余韻も残り、田中応援団OB会長、大井同窓会長の挨拶にも熱がこもり、山田同窓会副会長の乾杯の音頭で会がはじまりました。テンションの高いまま親睦会に入り大いに親交を深め合いました。途中仙台一高応援団OBの飛び入り参加もあり更に盛り上がりました。

最後に「勝利の歌」から応援歌のメドレーが続き「凱歌」「校歌」でやっと終了しました。

これで戦績も三三勝三三敗九分のイーブンに戻し、来年の連勝を期して盛会の内に終了しました。

硬式野球定期戦は、
毎年五月の第二土曜日に
開催されます。

同窓生からの寄贈本の紹介

- 『句集 しろがね』 西山 春文様 (高30回)
 - 『オーケストラの休日』 菅原 英洋様 (高7回)
 - 『夢現』(川柳宮城野選集60) 安藤 二郎様 (高11回)
 - 『わたしの山旅』横有恒著ほか42冊 相澤 拓男様 (高17回)
 - 『十五の夏』佐藤優著ほか3点 阿部 孝一様 (高26回)
 - 対談吉田茂という反省 阿羅 健一様 (高14回)
 - 『いつか深い穴に落ちるまで』3冊 高46回 山野辺太郎氏著書
 - 『ライシテから読む現代フランス…政治と宗教のいま』 小松 俊郎様 (高46回)
 - 『我が生い立ちの記 残照篇』 伊達 聖伸様 (高45回)
 - 『我が生涯を省みて』 布施康二郎様 (高12回)
 - 『がんと共生して長生きする最新免疫治療』 杉本 毅様 (中47回)
- 海老名卓三郎様 (高11回)

ゴルフ対抗戦開催

令和元年度二高一高同窓会

新緑の下、対一高同窓会ゴルフ対抗戦が東蔵王ゴルフクラブにおいて開催されました。

総勢五十七名が集い腕を競い、現役に続き勝利を勝ち取るべく、二高OB全員が一同となり頑張りました。結果、残念ながら団体戦は一高が勝利し、戦績は五勝二敗となりました。

個人戦は、二高20回の平間修一氏が見事優勝されました。表彰式では、山田同窓会副会長の総評と挨拶があり、両校和気あいあいとゴルフ談議に花を咲かせ、来年の再会を約束し散会となりました。来年は五月十日(日)の開催となりますので皆様の是非のご参加をお待ちしております。

山口 信也 (高23回) 記



過去 3 年間の大学入試合格状況

				() 内は現役内数								
年度別	31年 3月	30年 3月	29年 3月	年度別	31年 3月	30年 3月	29年 3月	年度別	31年 3月	30年 3月	29年 3月	
大学	合格者数	合格者数	合格者数	大学	合格者数	合格者数	合格者数	大学	合格者数	合格者数	合格者数	
国立大学	236 (135)	250 (138)	222 (115)	宮城大	2 (1)	7 (5)	2	東海大	1	3	3	
私立大学	21 (10)	22 (10)	14 (6)	国際教養大	1 (1)		1 (1)	東京医大		1		
公立大学	427 (124)	469 (149)	429 (99)	福島県医科大	9 (3)	4 (2)	4 (1)	東京工大		1	1	
大学校・専修・その他の学校	4 (1)	10 (9)	2 (1)	高崎経済大	2	2 (1)	1 (1)	東京工芸大	2 (2)			
総計	688 (270)	751 (306)	667 (221)	首都大東京	3 (2)	2 (1)	4 (2)	東京歯科大		1	2	
北海道大	6 (4)	12 (5)	10 (5)	横浜市立大	1 (1)	1		東京慈恵会医大			1	
	弘前大	2 (1)	4 (2)	8 (4)	都留文科大	1 (1)	1 (1)	1 (1)	東京女子大		5 (1)	1 (1)
	岩手大	6 (5)	9 (4)	6 (4)	長野県立大		1		東京女子医科大	1		3
	文	8 (6)	4 (1)	7 (6)	静岡健立大		1		東京電機大		3	4 (2)
	法	7 (5)	11 (8)	7 (5)	名古屋市立大	1	1		東京都市大	6	3	
	経済	7 (6)	11 (7)	15 (10)	京都府立大	1 (1)			東京農業大	10 (3)	10 (2)	12 (1)
	教育	1	3 (1)	1	大阪府立大		1		東京薬科大			1
	理	9 (5)	10 (5)	8 (4)	山口東京理科大		1		東京理科大	50 (9)	53 (12)	43 (6)
	工	28 (22)	29 (19)	23 (10)	九州歯大			1	東邦大			1
	医	17 (9)	12 (6)	13 (8)	公立大学合計	21 (10)	22 (10)	14 (6)	東洋大	5 (1)	4 (2)	11 (4)
	歯	8 (4)	5 (4)	6 (3)	国公立大学合計	257 (145)	272 (148)	236 (121)	日本大	5	7 (2)	12 (3)
	薬	5 (1)	2	5 (3)	北海道科学大	2			日本医科大	2	2	
	農	7 (4)	11 (7)	7 (1)	酪農学園大	3	1		日本歯科大		1	3
	東北大小計	98 (62)	104 (62)	94 (52)	千歳科学技大		1		日本獣医生命大	2 (2)		
	宮城教育大	9 (4)	9 (7)	9 (7)	岩手医科大	10 (3)	8 (1)	5	日本女子大	4 (1)	1 (1)	1 (1)
秋田大	8 (6)	5 (1)	5 (1)	尚絅学院大		3 (1)		法政大	13 (4)	29 (8)	22 (6)	
山形大	31 (22)	24 (13)	27 (18)	仙台百合女子大	1 (1)			星薬大	1		1	
福島大	1		1	東北学院大	21 (9)	13 (6)	20 (8)	武蔵大		3 (1)		
茨城大	1	1 (1)	1	東北工業大	1	1		武蔵野大			1	
筑波大	2 (1)	2 (1)	3 (1)	東北福祉大		1 (1)	3	明治大	26 (11)	38 (15)	47 (8)	
宇都宮大	1 (1)	2 (2)	1 (1)	東北医科薬科大	37 (12)	29 (10)	32 (10)	明治学院大	3 (1)	4 (1)	3 (3)	
群馬大	1		2	宮城学院女子大		2 (2)	3 (2)	明治薬大	1	1		
埼玉大	2	6 (3)	3 (2)	東北芸術工科大		1 (1)		立教大	6 (1)	9 (4)	7 (3)	
千葉大	4	3 (2)	7 (4)	奥羽大			1 (1)	早稲田大	29 (10)	35 (12)	26 (4)	
東京海洋大	1	2	1	つくば国際大			1	麻布大		2	1	
電気通信大	4	3 (1)	1 (1)	国際医療福祉大	3 (1)	1 (1)	3 (2)	神奈川大	2 (1)	1	2 (1)	
国立大学	文I	1	2 (1)	自治医科大	4 (1)	1 (1)	1 (1)	関東学院大			2	
	文II	3 (1)	2 (1)	獨協医科大	3		2	新潟医療福祉大		1		
	文III	7 (5)	4 (1)	埼玉医大		1		金沢医大		1		
	理I	4 (2)	6 (4)	城西大	1			金沢工大		1		
	理II	2 (1)	6 (3)	獨協大			3	豊田工大	1	1 (1)		
	理III			文教大		5 (5)		京都女子大		2		
	東京大小計	17 (9)	18 (9)	5 (1)	神田外語大		1 (1)		同志社大	4 (1)	8 (2)	5 (1)
	東京医歯大	1		1	千葉工大	1	4 (1)	3	立命館大	15 (2)	11 (1)	5 (2)
	東京外語大	1		2	青山学院大	7 (5)	10 (7)	9 (3)	龍谷大	1 (1)		
	東京学芸大	1 (1)		1 (1)	大妻女子大	1			大阪電気通信大	1 (1)		
東京芸術大			2 (2)	学習院大			1	大阪薬大				
東京工業大	5 (2)	4 (3)	4	学習院女子大		1		関西大	2	2	1	
東京農工大	3 (1)	1	1	北里大	3 (1)	7 (1)	10 (2)	関西医大	1			
一橋大	3 (3)	9 (5)	3 (2)	慶應義塾大	26 (12)	23 (10)	14 (2)	関西学院大	1	1		
横浜国立大	4 (1)	5 (1)	3 (1)	工学院大	2	6	3	近畿大		1	1	
長岡技術科学大			1	國學院大	1 (1)			兵庫医大		1		
新潟大	9 (3)	2 (1)	3 (2)	国際基督教大		1		岡山理大		1		
富山大		1	2 (1)	駒澤大	7 (2)	3 (1)	3	倉敷芸術科学大	1			
金沢大		1 (1)	1	実践女子大	1			沖縄大		1		
信州大	1	1	1 (1)	芝浦工大	39 (5)	17 (2)	17 (3)	私立大学合計	427 (124)	469 (149)	429 (99)	
静岡大		1 (1)	1	順天堂大	3 (1)	2		防衛大学校	1	2 (2)		
愛知教育大		1		上智大	1		3	防衛医科大	1	2 (1)		
名古屋大	1	1 (1)	1	昭和	3 (1)	1	5	航空保安大学校	1	1 (1)		
京都大	10 (8)	10 (7)	4 (2)	昭和女子大	1 (1)			水産大学校		1 (1)		
大阪大	2 (1)	5 (3)	1 (1)	百合女子大			1	大学校合計	3	6 (5)		
神戸大		2 (1)	1	成蹊大	3	4 (2)	2 (2)	大学・短大・専門		4 (4)	2 (1)	
奈良女子大			1	成城大		2 (1)		その他合計	1 (1)	4 (4)	2 (1)	
広島大			2	聖路加国際大	2							
九州大		2 (1)		専修大	3	1	4 (1)					
大分大	1			創価大			3 (3)					
鹿児島大			1 (1)	玉川大		1 (1)						
琉球大			1	中央大	39 (16)	62 (26)	45 (10)					
国立大学合計	236 (135)	250 (138)	222 (115)	津田塾大	1	5 (2)	7 (3)					
				帝京大	1 (1)		2					

部活動の記録／運動部成績

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
ラグビー部	第98回全国高等学校ラグビーフットボール大会宮城県予選 (2018/9/2～10/21) 2回戦 仙台二・仙台東・仙台南・高専広瀬合同 0-33 佐沼 第71回宮城県高等学校ラグビーフットボール新人大会予選トーナメント (2018/11/7～11/10) 仙台二・仙台東・仙台南・高専広瀬合同 14-33 白石工業 仙台二・仙台東・仙台南・高専広瀬合同 (29-5) 仙台一 (参考記録) 仙台二・仙台東・仙台南・高専広瀬合同 0-67 利府 ※予選敗退	硬式野球部	第12回春季宮城県高等学校野球地区大会 (2018/4/14～) 1回戦 仙台二3-11東北 敗者復活戦 1回戦 仙台二9-4宮城広瀬 2回戦 仙台二5-3泉 3回戦 仙台二7-4仙台一 第65回春季東北地区高等学校野球宮城県大会 (2018/5/18～) 1回戦 仙台二12-2白石 2回戦 仙台二4-3仙台三 3回戦 仙台二4-9古川学園 ベスト8 第100回全国高等学校野球選手権記念宮城大会(2018/7/13～) 1回戦 仙台二1-6小牛田農林 第12回秋季宮城県高等学校野球地区大会 (2018/8/16～) 1回戦 仙台二0-4東北生文大 敗者復活戦 1回戦 仙台二7-6仙台一 2回戦 仙台二4-5仙台一
陸上競技部	県総体 (2018/5/25～5/28) 学校対抗男子フィールド第3位 ・男子走高跳 澁谷 第1位 ・男子三段跳 岩崎 第2位 ・男子8種競技 伊東 第4位 ・女子200m 高橋由 第4位 ・女子三段跳 遠藤 第4位 ・女子走幅跳 中久保 第5位 ・男子800m 千葉 第6位 ・男子走高跳 香川 第6位 以上8名東北大会出場 ・女子5000m競歩 千葉 第6位 ・男子三段跳 藤田 第7位 ・男子棒高跳 榎森 第8位 第73回東北高校陸上競技大会 (2018/6/14～6/17) ・男子走高跳決勝 澁谷 10位 ・女子走幅跳決勝 中久保 10位 ・男子8種競技決勝 伊東 14位 ・女子三段跳決勝 遠藤 21位 ・男子三段跳決勝 岩崎 22位 ・男子800m 千葉 予選敗退 ・女子200m 高橋由 予選敗退 ・男子走高跳決勝 香川 記録無し 仙台一高・仙台二高陸上競技定期戦 (2018/8/8～) 仙台一高 198点-仙台二高 195点 仙台二高敗退 県新人 (2018/9/7～9/10) ・男子走高跳 香川 第1位 ・女子走高跳 二間瀬 第2位 ・男子1500m 岡田 第3位 ・女子走高跳 國部 第3位 ・女子400mH 高橋 第4位 以上5名東北大会出場 ・男子5000m競歩 虎岩 第5位 ・女子100mH 高橋 第5位 ・男子三段跳 藤田 第5位 ・男子棒高跳 榎森 第6位 ・女子5000m競歩 塚本 第7位 ・女子100mH 佐藤和 第8位 ・女子800m 吉本 第8位 ・男子円盤投 三浦 第8位 第23回東北高校新人陸上競技選手権大会 (2018/9/28～9/30) ・男子走高跳決勝 香川 第8位 ・女子走高跳決勝 國部 11位 ・男子1500m 岡田 予選敗退 ・女子400mH 高橋 予選敗退 ・女子走高跳決勝 二間瀬 記録無し 全国高校駅伝大会宮城県予選会 (2018/10/21～) ・女子11位 ・男子12位 第73回国民体育大会 (2018/10/8～) ・男子走高跳決勝 澁谷 19位	軟式野球部	第12回春季東北地区高等学校軟式野球大会宮城県大会 第67回宮城県高等学校軟式野球春季大会 兼 第67回宮城県高等学校総合体育大会軟式野球競技 (2018/5/30～6/3) 仙台二 2-1 東北 (延長12回) 仙台二 4-0 仙台 仙台二 0-8 仙台商 (7回コールド) ※第3位 第63回全国高等学校軟式野球選手権宮城大会 (2018/7/10～) 仙台二 4-9 東北学院 第30回秋季東北地区高等学校軟式野球宮城県大会 第59回宮城県高等学校軟式野球秋季大会 (2018/10/6～) 仙台二 2-3 仙台・明成・泉三校連合 (延長13回タイブレーク) 平成30年度仙台一高・仙台二高 軟式野球定期戦 (2018/5/26～) 仙台二 2-3 仙台一
ハンドボール部	第41回全国高等学校選抜大会宮城県二次予選会 (2018/1/5～1/6) 第一位 仙台二 33 (17-5,16-14) 19 古川工, 仙台二 24 (13-8,11-16) 24 聖和学園, 仙台二 24 (11-9,13-4) 13 利府 第41回東北高等学校ハンドボール選抜大会 (2018/2/2～2/4) 第4代表獲得 予選リーグ3位, 第3代表決定戦: 仙台二 23-33 山形中央, 第4代表決定戦: 仙台二 24 (10-6,14-13) 19 盛岡南 平成29年度 第41回全国高等学校ハンドボール選抜大会 (2018/3/24～3/29) 一回戦敗退 仙台二 28-37 和歌山県立那賀 平成30年度 宮城県春季ハンドボール選手権大会【高校の部】 (2018/4/19～4/21) 第2位 仙台二 26 (10-8,16-8) 16 仙台一, 仙台二 19 (7-5,12-9) 14 富谷, 準決勝: 仙台二 18 (12-8,6-9) 17 古川工, 決勝: 仙台二 17 (6-12,11-14) 26 聖和学園 第67回 (平成30年度) 宮城県高等学校総合体育大会ハンドボール競技 (2018/6/2～6/4) 第3位 仙台二 37 (15-7,22-15) 22 塩釜, 仙台二 26 (16-10,10-8) 18 富谷, 準決勝: 仙台二 19 (9-14,10-15) 29 利府 第74回 (平成31年度) 国民体育大会ハンドボール競技少年の部宮城県第一次予選会 (2018/7/19～7/21) ベスト8 仙台二 25 (11-7,14-6) 13 仙台商業, 仙台二 20 (11-9,9-15) 24 古川工 平成30年度 仙台市民総体ハンドボール競技 (2018/7/27～7/28) 一次リーグ敗退 平成30年度 宮城県高等学校ハンドボール競技新人大会 第42回全国高等学校選抜大会宮城県第1次予選 (2018/11/8～11/10) 二回戦敗退 仙台二20 (10-8,10-8) 16 東北, 仙台二20 (12-9,8-16) 25 仙台三	サッカー部	県高総体サッカー競技仙台地区予選 (2018/4/30～5/8) <高校総体>(県ベスト16) ・地区予選(4/30～5/8) 仙台二7-1 宮城広瀬 仙台二3-0 仙台二華 仙台二0-3 仙台南 県高総体サッカー競技 (2018/5/26～5/27) 1回戦 仙台二2-0 仙台東 2回戦 仙台二1-5 東北 全国高校サッカー選手権大会県1次予選 (2018/7/18～7/19) 1回戦 仙台二10-0 宮城水産 2回戦 仙台二4-0 迫桜 全国高校サッカー選手権大会県予選決勝トーナメント (2018/10/20) 1回戦 仙台二0-1 多賀城 高宮杯宮城県リーグ2部 (2018/5/20～11/11) 仙台二4-3 古川 仙台二5-0 DUO PARK FC 仙台二1-0 富谷 仙台二1-1 泉 仙台二0-1 名取北 仙台二1-2 東北II 仙台二2-3 明成 県高校新人大会サッカー競技仙台地区予選 (2018/10/2～10/12) 仙台二4-0 仙台 仙台二1-0 塩釜 仙台二0-2 利府 ・代表決定戦 仙台二1-0 榴ヶ岡 県高校新人大会サッカー競技 (2018/11/16～11/19) 1回戦 仙台二 - 志津川(予定) 2回戦 仙台二 - 未定 東京大学サッカーフェスティバル (2018/12/22～12/24) 対戦相手未定
		ラグビー部	第5回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会宮城県予選大会 (2018/4/21～4/22) 予選トーナメント 仙台二・仙台東合同 31-12 宮水・石巻合同 仙台二・仙台東合同 7-52 仙台三 ※決勝トーナメント進出 決勝トーナメント 3位 2回戦 仙台二・仙台東合同 17-17 石巻工業 ※抽選により3回戦進出 3回戦 仙台二・仙台東合同 12-47 仙台工業 第67回宮城県高等学校総合体育大会ラグビーフットボール競技 (2018/5/26～6/4) 1回戦 仙台二・仙台南・高専広瀬合同 12-22 仙台一

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
バドミントン部	<p>仙台二 0-3 名取北 仙台二 0-3 聖ウルスラ 国体予選 (2018/7/7) 女子 シングルス 横山 小夏 初戦敗退 ジュニア選手権大会 宮城県予選 (2018/7/27~7/29) 女子 ダブルス 横山・反畑組 5回戦進出 (ベスト32) 近江・小寺組 4回戦進出 (ベスト64) 県新人大会個人戦 (2018/10/30~10/31) 男子 ダブルス 小島・金子組 3回戦進出 (ベスト64) 山下・山中組 初戦敗退 シングルス 山下 薫 初戦敗退 女子 ダブルス 横山・反畑組 4回戦進出 (ベスト32) 近江・小寺組, 矢口・小林組 初戦敗退 シングルス 横山 小夏 3回戦進出 (ベスト64) 県新人大会団体戦 (2018/11/5~11/7) 男子 仙台二 3-2 松島 仙台二 0-3 仙台一 女子 仙台二 3-2 大河原商 仙台二 0-3 東北生文大 仙台市民総体 (2018/12/16) 第4部 優勝 山下薫・小島駆</p>	バスケッ ト部	<p>第40回宮城県高等学校バスケットボール選手権大会一次予選 (2018/8/16~8/17) 男子 1回戦 仙台二105-49東北学院榴ヶ岡 2回戦 仙台二94-65古川 3回戦 仙台二78-56黒川 ブロック優勝ウインターカップ予選本大会出場決定 第40回宮城県高等学校バスケットボール選手権大会一次予選 (2018/8/14~8/15) 女子 1回戦 仙台二50-60仙台西 第40回宮城県高等学校バスケットボール選手権大会 (2018/10/20~10/21) 男子 1回戦 仙台二44-127明成 平成30年度宮城県高等学校新人バスケットボール大会 仙塩地区予選会 (2018/10/27~11/7) 男子 予選iブロック 仙台二76-68黒川 仙台二82-86仙台南 iブロック2位通過 代表決定トーナメント 仙台二98-68仙台商業 県大会出場決定 平成30年度宮城県高等学校新人バスケットボール大会 仙塩地区予選会 (2018/10/27~11/7) 女子 予選aブロック 仙台二39-140聖和学園 仙台二54-40仙台三 aブロック2位通過 代表決定トーナメント 仙台二34-70富谷 平成30年度宮城県高等学校新人バスケットボール大会 (2019/1/19~1/21) 男子 1回戦 仙台二98-57高専名取 2回戦 仙台二64-79仙台一</p>
テニス部	<p>平成30年度 春季ジュニア大会 (2018/4/28~5/6) 個人の部男子 シングルス ベスト16 尾形優 ベスト32 申虎幸 個人の部男子 ダブルス ベスト8 松尾祐希・ (和田・東北学院) 平成30年度宮城県高等学校総合体育大会テニス競技 (2018/6/2~6/4) 団体の部男子 1回戦 仙台二2-1仙台向山 2回戦 仙台二1-2黒川 平成30年度宮城県高等学校新人戦テニス競技 (2018/9/7~9/9) 個人の部男子 ダブルス ベスト8 石塚健彰・大久祥多郎 平成30年度宮城県高等学校新人戦テニス競技 (2018/10/4~10/6) 団体の部男子 1回戦 仙台二3-2東北 2回戦 仙台二3-2仙台育英 3回戦 仙台二0-5東北学院 (ベスト8) 県新人大会団体の部 (2018/10/4~10/6) 女子団体 2回戦 3-2 対泉 3回戦 4-1 対利府 決勝リーグ 0-5 対聖和 0-5 対東陵 2-3 対仙台三 4位 県新人大会個人の部 (2018/9/7~9/9) 女子個人 シングルス 青木七穂② ベスト16 岩月遥② ベスト8 ダブルス 岩月②青木② ベスト16 平成30年度宮城県高等学校総合体育大会テニス競技個人の部 (2018/6/2~6/4) 女子個人 シングルス 横山歩美③ ベスト16 ダブルス 横山③青木② ベスト16 平成30年度宮城県高等学校総合体育大会テニス競技 (2018/6/2~6/4) 女子団体 1回戦 2-1 対仙台東 2回戦 1-2 対宮城学院 平成30年度 春季ジュニア大会 (2018/4/28~5/6) 女子シングルスU-18 横山歩美③ 8位 東北大会出場 女子ダブルス 横山③佐藤 (宮城学院) 3位 青木②川合② ベスト16 熊谷③森③ ベスト16 第71回宮城県民体育大会テニス競技ジュニアの部 (2018/7/28~7/31) 女子シングルス 岩月遥② 3位 女子ダブルス 青木②甲川 (白百合) ベスト8 平成30年度宮城県冬季ジュニアテニス大会 (2018/12/15~12/25) 女子シングルス 岩月遥 10位 第40回東北ジュニアテニス選手権大会・全日本ジュニア予選会 (2018/7/13~7/18) U-18シングルス 予選トーナメント敗退</p>	バレー 部	<p>第67回宮城県高等学校総合体育大会 (2018/6/2~6/4) 1回戦 仙台二0-2石巻西 第71回全日本バレーボール高等学校選手権大会代表決定戦 兼 第40回仙台放送杯争奪宮城県大会 一次予選 (2018/9/8) 1回戦 仙台二2-0柴田農 2回戦 仙台二0-2仙台西 平成30年度 (第39回) 仙台市民総合体育大会バレーボール競 技 (高等学校の部) (2018/11/3~11/4) 仙台二0-2東北学院 仙台二0-2仙台一 平成30年度宮城県高等学校バレーボール競技新人大会 仙塩 地区大会 (2018/12/22~12/24) 仙台二-泉館山 仙台二-明成 仙台二-仙台工 平成30年度宮城県高等学校バレーボール競技新人大会 (2019/1/19~1/21) 1回戦 仙台二2-0名取北 2回戦 仙台二1-2東北生文大高 第74回国民体育大会バレーボール競技少年の部 宮城県選手 選考会 兼 第27回宮城県高等学校バレーボール男子・女子 選手権大会 一次予選 (2019/3/16~3/17) 1回戦 仙台二2-1名取北 2回戦 仙台二0-2古川</p>
		バドミントン部	<p>宮城県選手権大会 (2018/4/26~4/30) 男子 ダブルス 山下・山中組 4回戦進出 (ベスト64) 女子 ダブルス 大沼・横山組 4回戦進出 (ベスト64) 高校総体個人戦 (2018/5/24~5/25) 男子 ダブルス 高橋・小島組, 佐藤・金子組, 清信・芦川組 2回戦進出 阿部・今野組 初戦敗退 シングルス 菅原 拓磨, 高橋 幹大, 小島 駆, 今野 巧夢 初戦敗退 女子 ダブルス 大沼・横山組, 梶原・森本組 2回戦進出 小野寺・高橋組, 杉本・平野組 初戦敗退 シングルス 横山 小夏 4回戦進出 (ベスト32) 森本 彩里紗, 梶原 干波, 反畑 菜 初戦敗退 高校総体団体戦 (2018/6/2~6/4) 男子 仙台二 3-0 仙台高専名取</p>

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
水 泳 部 (競 泳)	<p>第67回宮城県高等学校総合体育大会水泳競技大会 (2018/6/22~6/24) 男子400m個人メドレー 2年 堀野真生 決勝 8位 東北大会出場 女子400m自由形 2年 村上菜穂 決勝 8位 東北大会出場 女子200m背泳ぎ 2年 川口明紗陽 決勝 7位 東北大会出場 男子200m背泳ぎ 1年 川口陽大 決勝 7位 東北大会出場 男子200m個人メドレー 2年 堀野真生 決勝 7位 東北大会出場 男子100m背泳ぎ 1年 川口陽大 決勝 7位 東北大会出場 女子4×100mフリーリレー 決勝 8位 東北大会出場 女子4×100mメドレーリレー 決勝 6位 東北大会出場 男子4×100mメドレーリレー 決勝 8位 東北大会出場 男子4×200mフリーリレー 決勝 7位 東北大会出場 学校対抗 女子第8位</p> <p>第66回東北高等学校選手権水泳競技大会 (2018/7/20~7/22) 男子400m個人メドレー 2年 堀野真生 女子400m自由形 2年 村上菜穂 女子200m背泳ぎ 2年 川口明紗陽 男子200m背泳ぎ 1年 川口陽大 男子200m個人メドレー 2年 堀野真生 男子100m背泳ぎ 1年 川口陽大 女子4×100mフリーリレー 女子4×100mメドレーリレー 男子4×100mメドレーリレー 男子4×200mフリーリレー いずれも予選敗退</p> <p>平成30年度宮城県高等学校新人水泳競技大会 (2018/9/21~9/23) 女子400m自由形 2年 村上菜穂 決勝 4位 東北新人大会出場 男子200m背泳ぎ 1年 川口陽大 決勝 2位 東北新人大会出場 男子4×100mメドレーリレー 決勝 4位 東北新人大会出場 男子100m背泳ぎ 1年 川口陽大 決勝 2位 東北新人大会出場 女子100m背泳ぎ 2年 村上菜穂 決勝 5位 2年 川口明紗陽 決勝 7位 男子4×200mフリーリレー 決勝 7位 男子4×100mフリーリレー 決勝 5位 学校対抗 男子第7位 女子第8位</p> <p>第26回東北高等学校新人水泳競技大会 (2018/11/2~11/3) 女子400m自由形 2年 村上菜穂 男子200m背泳ぎ 1年 川口陽大 男子100m背泳ぎ 1年 川口陽大 男子4×100mメドレーリレー いずれも予選敗退</p>	<p>県春季大会県国体一次選考会 (2018/4/26~4/27) 男子個人 千葉(愛)・千葉(颯) 4回戦敗退 ベスト32 山口・蛭名 4回戦敗退 ベスト32 庄子・中島 1回戦敗退 長南・中村 1回戦敗退 遠藤・千葉(礼) 1回戦敗退 女子個人 ・高橋・伊東 1回戦 ④-0 対白石工 2回戦 3-④ 対宮城広瀬 ・杉山・山崎 1回戦 1-④ 対常磐木 ・飯田・打矢 1回戦 ④-3 対多賀城 2回戦 0-④ 対生文大高 ・桑原・山田 1回戦 1-④ 対宮城農</p> <p>県高校総体 (2018/6/2~6/4) 男子団体 2回戦 ③-0 亘理 3回戦 0-② 白石 男子個人 千葉(愛)・千葉(颯) ベスト16 東北大会決定1回戦 2-④ 東北 山口・蛭名 2回戦敗退 長南・中村 4回戦敗退 ベスト32 庄子・中島 3回戦敗退 女子団体 2回戦 ②-1 対白石 2回戦 0-② 対宮城一 女子個人 高橋・伊東 2回戦 ④-3 対柴田 3回戦 1-④ 対聖和 杉山・山崎 1回戦 3-④ 対聖和</p> <p>県夏季大会 (2018/8/10~8/11) 男子個人 千葉・長南 4回戦敗退 ベスト32 遠藤・中村 4回戦敗退 ベスト32 佐々木・有住 3回戦 ベスト64 柴田・高畑 1回戦敗退 女子個人 高橋・山崎 2回戦 ④-2 対白百合 3回戦 ④-0 対大河原商 4回戦 0-④ 対仙台三 ベスト32 杉山・伊東 1回戦 ④-0 対石巻西 2回戦 3-④ 対古川工 打矢・児玉 1回戦 ④-2 対石巻北 2回戦 ④-3 対学院榴ヶ岡 3回戦 3-④ 対仙台三桜 坪井・柏木 1回戦 1-④ 対築館</p> <p>県新人大会 (2018/11/1~11/3) 男子団体 2回戦 ②-0 石巻好文館 3回戦 0-② 仙台三 男子個人 千葉(愛)・長南 1回戦敗退 遠藤・中村 2回戦敗退 女子団体 1回戦 1-② 対仙台二華 女子個人 高橋・山崎 1回戦 ④-0 対富谷 2回戦 0-④ 対東北 杉山・伊東 1回戦 ④-0 対石巻 2回戦 0-④ 対東北</p>	
	卓 球 部	<p>宮城県高等学校総合体育大会卓球競技 (2018/6/2~6/4) 男子学校対抗 1回戦 仙台二3-2 築館 2回戦 仙台二2-3 石巻工 女子学校対抗 1回戦 仙台二3-2 仙台青陵 2回戦 仙台二0-3 迫桜 男子シングルス 高橋(優)③長谷川②境②渡邊② 3回戦敗退 早川② 2回戦敗退 男子ダブルス 高橋(優)③・松田③ 1回戦敗退 女子シングルス 高橋(歩) 1回戦敗退</p> <p>全日本卓球選手権大会ジュニアの部仙塩地区予選会 (2018/8/13) 男子シングルス 長谷川②早川②西尾(東)②渡邊②樫本② 遠藤①川村① 県大会出場 女子シングルス 吉田② 県大会出場</p> <p>全日本卓球選手権大会ジュニアの部宮城県予選会 (2018/9/9) 男子シングルス 早川②川村① 3回戦敗退 長谷川②西尾②遠藤① 2回戦敗退 樫本② 1回戦敗退 女子シングルス 吉田② 1回戦敗退</p> <p>宮城県高等学校新人卓球大会仙塩地区予選会 (2018/10/11~10/13) 男子学校対抗 予選トーナメント 1回戦 仙台二3-0 宮城広瀬 2回戦 仙台二3-0 泉松陵 決勝トーナメント 2回戦 仙台二3-2 仙台三 3回戦 仙台二0-3 聖和 第3位 県大会出場 女子学校対抗 予選トーナメント 1回戦 仙台二0-3 泉 第一次敗者復活戦 2回戦 仙台二1-3 仙台商 第二次敗者復活戦 1回戦 仙台二3-0 泉松陵 県大会出場 男子シングルス 早川②丹野②境②武石②遠藤①</p>	<p>第25回東北高校春季水球競技大会 (2018/5/26~5/27) 仙台二 5-20 黒沢尻工業 仙台二 3-8 山形水球クラブ 仙台二 5-4 福島水球クラブ 第5位</p> <p>第67回県高校総体水球競技 (2018/6/24) 仙台二 2-30 柴田高校 第2位</p> <p>第86回日本高等学校選手権水泳競技大会水球競技 (2018/7/14~7/15) 仙台二 9-15 黒沢尻工業 仙台二 1-21 柴田高校 仙台二 2-25 山形工業 仙台二 20-3 福島商業 第4位</p> <p>県新人戦 (2018/10/21) 仙台二 1-16 柴田高校</p> <p>第31回東北選手権水球競技大会 (2018/11/3~11/4) 仙台二 1-26 青森市水泳協会 仙台二 3-15 黒沢尻工業 仙台二 2-19 柴田高校 仙台二 1-16 山形工業 第5位</p>

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
フェンシング部	女子カデサール 佐藤名美佳 (予選1位) 今野愛佳 (同2位) 平成30年度宮城県高等学校新人大会フェンシング競技 (2018/10/26~2018/10/28) 女子個人フルール 第2位 原さくら 第6位 菊池菜乃佳 平成30年度宮城県フェンシング選手権大会 (エペ・サーブル) (2018/12/23~12/24) 男子団体エペ 第2位 (齋藤拓真 赤石丞 鄭俊 小泉奏太 平健太郎) 1回戦 V45-20 仙台一 準決勝 V45-31 仙台南 決 勝 28-V45 仙台南 男子団体サーブル 第2位 (菊地駿希・進藤尚由己・中條航希・因幡涼平・大瀬戸志成) 1回戦 V45-15 仙台南 準決勝 V45-25 仙台 決 勝 41-V45 仙台三 女子団体エペ 第1位 (及川和花・西野麗華・松岡彩奈・寺崎碧来・森本香穂) 1回戦 V45-30 仙台 準決勝 V45-17 仙台三 決 勝 V45-23 仙台一 女子団体サーブル 第1位 (原さくら・菊池菜乃佳・今野愛佳・佐藤名美佳・小島清楓) 準決勝 V45-39 仙台一 決勝 V45-25 仙台 男子個人エペ 第2位 齋藤拓真 第3位 赤石丞 男子個人サーブル 第3位 菊地駿希 第4位 中條航希 女子個人エペ 第2位 及川和花 女子個人サーブル 第2位 原さくら 第4位 今野愛佳 平成30年度宮城県フェンシング選手権大会 (フルール) (2019/1/18~1/19) 男子団体フルール 第2位 (齋藤拓真・赤石丞・進藤尚由己・鄭俊・大瀬戸志成) 1回戦 V45-27 仙台 準決勝 V45-44 仙台三 決 勝 2-V45 仙台南 女子団体フルール 第2位 (原さくら・及川和花・今野愛佳・菊池菜乃佳・西野麗華) 1回戦 V44-25 仙台南 準決勝 V40-37 仙台一 決 勝 27-V31 仙台 男子個人フルール 第4位 齋藤拓真 女子個人フルール 第3位 原さくら 第43回全国高等学校選抜フェンシング大会北海道・東北予選会 (2019/1/25~1/27) 女子団体エペ 第4位 *全国大会出場権獲得 (及川和花・西野麗華・松岡彩奈・寺崎碧来・森本香穂) 予選プール 1勝1敗 トーナメント準決勝 24-V37 聖霊女子 (秋田) 3位決定戦 18-V26 黒石 (青森) 女子団体サーブル 予選プール 0勝2敗 (原さくら・菊池菜乃佳・今野愛佳・佐藤名美佳・小島清楓)	卓 球 部	千葉(知)①川村① 県大会出場 男子ダブルス 遠藤①・川村① 準優勝, 県大会出場 境②・早川② 県大会出場 女子シングルス 吉田② 県大会出場 女子ダブルス 県大会出場ならず 宮城県高等学校新人卓球大会 (2018/11/8~11/10) 男子学校対抗 2回戦 仙台二3-0 東北生文大高 3回戦 仙台二3-0 仙台 4回戦 仙台二0-3 利府 ベスト8 女子学校対抗 2回戦 仙台二2-3 登米 男子シングルス 境② ベスト16 遠藤① 4回戦敗退 早川②武石② 3回戦敗退 丹野②千葉(知)①川村① 2回戦敗退 男子ダブルス 遠藤①・川村① 2回戦敗退 境②・早川② 1回戦敗退 女子シングルス 吉田② 2回戦敗退 全国高等学校選抜卓球大会宮城県予選会 (2018/12/22) 男子シングルス 川村① 第三位 境② ベスト8 遠藤① 3回戦敗退 長谷川②早川②武石②小杉① 2回戦敗退
	男子個人フルール 第7位 管稜弥 女子個人フルール 第8位 高柳りり花 男子個人エペ 第4位 赤石丞 男子個人サーブル 第1位 管稜弥 男子団体フルール (佐々木・尾川・管・菊地・齋藤) 1回戦 4-V5 仙台 女子団体フルール (小山・金野・高柳・本間・今野) 1回戦 V5-1 仙台南 準決勝 4-V5 仙台 第56回東北高等学校フェンシング選手権大会 (2018/6/22~2018/6/25) 男子個人サーブル 第6位 管稜弥 平成30年度全国高等学校総合体育大会フェンシング競技・第 64回全国高等学校フェンシング選手権大会 (2018/8/2~2018/8/5) 男子個人サーブル 管稜弥 予選プール 2勝2敗 トーナメント 1回戦 9-V15 加藤 (羽島北・岐阜) 平成30年度宮城県民体育大会フェンシング競技 (2018/8/11~2018/8/12) 女子個人シニア 第2位 今野愛佳 第4位 及川和花 少年男子団体 第2位 仙台二高A (赤石丞, 菊地駿希, 吉村太一) 少年女子団体 第3位 仙台二高A (今野愛佳, 西野麗華, 菊池菜乃佳, 浅野菜乃夏) 平成30年度仙台市民総合体育大会フェンシング競技 (2018/10/6~2018/10/7) 少年男子団体 第2位 仙台二高A (齋藤拓真 赤石丞 菊地駿希 因幡涼平) 少年女子団体 第3位 仙台二高A (原さくら 及川和花 菊池菜乃佳 西野麗華 森本香穂) 少年男子シニア 第3位 赤石丞 第7位 齋藤拓真 少年女子シニア 第3位 原さくら 第7位 及川和花 少年女子ジュニア 第2位 高橋瞳 第3位 中村遥 平成30年度宮城県高等学校新人大会フェンシング競技 (2018/10/26~2018/10/28) 男子団体 第3位 (齋藤拓真・赤石丞・菊地駿希・鄭俊・中條航希) 1回戦 V5-2 仙台一 準決勝 2-V5 仙台三 シード決定戦V5-4 気仙沼 平成30年度宮城県高等学校新人大会フェンシング競技 (2018/10/26~10/28) 女子団体 第2位 (原さくら・及川和花・今野愛佳・西野麗華・松岡彩奈) 準決勝 V5-2 仙台三 決勝 4-V5 仙台 男子個人フルール 第6位 齋藤拓真 第7位 赤石丞 第26回JOCジュニアオリンピックカップフェンシング大会宮 城県予選会兼2019年ジュニア・カデ世界選手権大会最終選考会 宮城県予選会 (2018/11/17~11/18) 全国大会出場権獲得者 男子ジュニアエペ 赤石丞 (予選1位) 男子ジュニアサーブル 菊地駿希 (予選2位) 男子カデサーブル 大瀬戸志成 (予選2位) 女子ジュニアエペ 松岡彩奈 (予選1位) 女子ジュニアサーブル 菊池菜乃佳 (予選2位)		
剣 道 部	県総体 (2018/6/2~6/4) 女子団体予選リーグ 対石巻1-4 対名取1-3 予選3位敗退 男子団体予選リーグ 対登米総合4-1 対石巻西2-2 (本数勝) 予選1位 男子団体決勝トーナメント1回戦 対仙台南2-2 (本数負) 女子個人戦 砂子3回戦敗退 鹿野2回戦敗退 男子個人戦 結城3回戦敗退 細川5回戦敗退(ベスト16) 仙塩新人大会 (2018/8/18~) 女子団体1回戦 対利府0-5 敗退 男子団体1回戦 対仙台西4-0 2回戦 対東北学院3-2 3回戦 対仙台一1-4 敗退 県新人大会 (2018/11/8~11/10) 女子団体予選リーグ 対石巻商業0-1 対榴ヶ岡3-1 リーグ2位敗退 男子団体予選リーグ 対利府1-0 対聖和学園5-0 予選1位 男子団体決勝トーナメント2回戦 对小牛田0-5 敗退 (ベスト16) 女子個人戦 小野1回戦敗退 鹿野順々決勝敗退(ベスト8) 男子個人戦 芹澤1回戦敗退 三浦1回戦敗退	フェンシング部	
柔 道 部	県総体 (2018/10/4~10/6) 個人戦 出場1回戦敗退		
弓 道 部	平成30年度 宮城県高等学校総合体育大会弓道競技仙塩地区 予選会 (2018/5/18~5/19) 男子団体 仙台第二A (城戸悠介・柳町和哉・澤口空良・ 中村鴻平・戸塚健太郎) 予選① (12/20) 予選② (12/20) 予選③ (16/20) 優勝		

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
ス キ ー 部	第30回全国高等学校選抜スキー大会 (平成29年度) (2018/3/17~3/20) 女子GSL 第77位納谷世恵羅 女子SL 第56位納谷世恵羅	弓 道 部	仙台第二 B (坂田健・永宮匠・井伊優太・野田亮介・千葉涼) 予選① (1/20) 予選② (1/20) 予選③ (4/20) 女子団体 仙台第二 (大内里菜・村上真悠・畠山天音・城田紗英・伊藤理恵) 予選① (6/20) 予選② (6/20) 予選③ (5/20) 男子個人 城戸悠介 (9/12), 中村鴻平 (10/12), 戸塚健太郎 (10/12) 県大会出場 女子個人 伊藤理恵 (7/12) 県大会出場
	第57回宮城県高等学校スキー新人大会 (平成29年度) (2018/3/2~3/4) 男子GSL 第6位成田侑星 第7位瀬川凜 第8位石橋賢 第9位目黒淳之介 第10位木村青空 女子GSL 第1位納谷世恵羅 男子SL 第7位目黒淳之介 第8位石橋賢 第9位瀬川凜 女子SL 第2位納谷世恵羅		第67回 宮城県高等学校総合体育大会弓道競技 (2018/6/2~6/4) 男子団体 仙台第二 (城戸悠介・柳町和哉・澤口空良・中村鴻平・戸塚健太郎) 1次予選 (10/20) 2次予選 (11/20) 準々決勝 (9/20) 準々決勝敗退 男子個人 城戸悠介 (2/4, 2/4) 2次予選敗退 中村鴻平 (0/4)・戸塚健太郎 (1/4) 一次予選敗退 女子個人 伊藤理恵 (4/3, 1/4) 2次予選敗退 平成30年度 宮城県新人大会弓道競技大会仙塩地区予選会 (2018/10/18~10/19) 男子団体 仙台第二 (柳町和哉・井伊優太・坂田健・中村鴻平・戸塚健太郎) 予選① (4/20) 予選② (4/20) 予選③ (5/20) 女子団体 仙台第二 (大内里菜・菊地芽衣・村上真悠・畠山天音) 予選①(3/20) 予選② (2/20) 予選③ (4/20) 女子個人 村上真悠 (6/12) 県大会出場 平成30年度 宮城県高等学校新人大会弓道競技 (2018/11/2~11/4) 男子団体 (柳町和哉・曾根康正・坂田健・中村鴻平・戸塚健太郎) 一次予選 (4/20) 一次予選敗退 女子団体 (大内里菜・菊地芽衣・村上真悠・菊池美桜・畠山天音) 一次予選 (1/20) 一次予選敗退 女子個人 村上真悠 (2/4, 0/4) 2次予選敗退
		山 岳 部	平成30年度宮城県高等学校新人大会 登山競技 (2018/10/5~10/6) 男子団体 第6位入賞 記録69.6点
		ヨ ッ ト 部	県総体 (2018/6/2~6/3) 男子420級 11位 男子コンバインド 6位 男子レーザーラジアル級 (白山遥基) 5位 東北大会 (2018/6/15~6/17) 男子420級 19位 男子コンバインド 10位 男子レーザーラジアル級 (白山遥基) 8位 国体予選 (2018/7/14~7/15) 少年男子レーザーラジアル級 (白山遥基) 2位 少年男子レーザーラジアル級 (藤原裕大) 6位 県新人大会 (2018/10/13~10/14) 男子420級 1位 男子レーザーラジアル級 (白山遥基) 2位 北海道東北420級ヨット選手権大会 (2018/11/3~11/4) 吉田高天・藤原裕大 3位
ス キ ー 部		ス キ ー 部	宮城県高等学校総合体育大会スキー競技会 (平成29年度) (2018/1/12~1/14) 男子GSL 第4位岩崎海斗 第9位渡部新 第10位瀬川凜 第11位石橋賢 第12位目黒淳之介 第13位木村青空 女子GSL 第4位納谷世恵羅 男子SL 第5位岩崎海斗 第8位成田侑星 第9位渡部新 第10位石橋賢 第11位瀬川凜 第12位木村青空 第13位目黒淳之介 女子SL 第4位納谷世恵羅 (岩崎・成田・納谷 東北大会出場)
			第73回国民体育大会冬季大会宮城県予選会 (平成29年度) (2018/1/19~1/21) 男子GSL 第5位岩崎海斗 (国体出場) 第12位成田侑星 第13位渡部新 女子GSL 第3位納谷世恵羅 (国体出場) 第40回東北高等学校スキー選手権大会 (平成29年度) (2018/1/23~1/25) 男子GSL DF岩崎海斗 女子GSL 第28位納谷世恵羅 男子SL 第56位岩崎海斗 第65位成田侑星 女子SL 第25位納谷世恵羅 男子GSL 第135位岩崎海斗 女子SL 第63位納谷世恵羅

部活動の記録／学芸部成績

部 名	成 績
美 術 部	第69回仙台市内高等学校美術展 (2018/7/4～2018/7/8) 優秀賞
物 理 部	第 8 回科学の甲子園みやぎチャレンジ (2018/10/20) 総合第 7 位 Bチーム物理部・生物部・化学部合同 (大河原優樹・佐藤良多・白鳥宏静・鈴木朝陽・渡邊直毅・加藤可識・佐治照紗・浅野早希) 総合第 9 位 Aチーム物理部・化学部・地学部・有志合同 (青山武玄・石川響輝・小倉誠・大原結真・本田圭一・澤野遼一・平岩諒・加藤遼太)
化 学 部	第 8 回科学の甲子園みやぎチャレンジ (2018/10/20) 総合第 7 位 Bチーム物理部・生物部・化学部合同 (大河原優樹・佐藤良多・白鳥宏静・鈴木朝陽・渡邊直毅・加藤可識・佐治照紗・浅野早希) 第71回宮城県高等学校生徒理科研究発表会化学部門 (2018/11/7) 優秀賞 化学部 (2年 澤野遼一 2年 江川直弥 1年 伊藤舞音) 優秀賞 化学部 (2年 竹本綾子 2年 長船夏輝) 優秀賞 化学部 (2年 佐久間俊彰 2年 片山敏伸) 優秀賞 化学部 (1年 浅野早希 1年 今野日智 1年 齋藤さくら 1年 小山大凱) 宮城県生徒理科研究発表会 (2018/11/7) 優秀賞 地学部 (1年 結城せな 1年 相澤沙羅 2年 平岩諒) 科学の甲子園みやぎチャレンジ (2018/10/20) 総合第 7 位 Bチーム (1年 浅野早希 大河原優樹 加藤可識 佐治照紗 佐藤良多 白鳥宏静 千葉一真 渡邊直毅) 総合第 9 位 Aチーム (2年 本田圭一 小倉誠 大原結真 石川響 青山武玄 加藤遼太 平岩諒 澤野遼一) 第71回宮城県高等学校生徒理科研究発表会物理部門 (2018/11/7～) 部長賞 2年 本田圭一 第14回全国物理コンテスト「物理チャレンジ2018」 (2018/8/22～) 第 2 次チャレンジ 銅賞 3年 安藤一真 第 8 回科学の甲子園みやぎチャレンジ (2018/10/20) 総合第 9 位 Aチーム物理部・化学部・地学部・有志合同 (青山武玄・石川響輝・小倉誠・大原結真・本田圭一・澤野遼一・平岩諒・加藤遼太)
生 物 部	第 8 回科学の甲子園みやぎチャレンジ (2018/10/20) 総合第 7 位 Bチーム物理部・生物部・化学部合同 (大河原優樹・佐藤良多・白鳥宏静・鈴木朝陽・渡邊直毅・加藤可識・佐治照紗・浅野早希) 第71回 宮城県高等学校生徒理科研究発表会 (2018/11/7) 生物分野 「サクラムも食べるカイコガ」加藤可識 岩井渉 佐治照紗 優秀賞
地 学 部	第71回 宮城県高等学校生徒理科研究発表会 (2018/11/7) 地学分野「火山豆石の分類と比較」結城せな 相澤沙羅 平岩諒 優秀賞 第 8 回科学の甲子園みやぎチャレンジ (2018/10/20) 総合第 9 位 Aチーム物理部・化学部・地学部・有志合同 (青山武玄・石川響輝・小倉誠・大原結真・本田圭一・澤野遼一・平岩諒・加藤遼太)
吹 奏 楽 部	吹奏楽コンクール第61回宮城県大会予選仙台青葉・泉地区大会 (2018/7/21) 高等学校の部 金賞, 審査員特別賞 吹奏楽コンクール予選第61回宮城県大会 (2018/8/2) 高等学校の部 銅賞 第61回吹奏楽コンクール宮城県大会予選仙台青葉・泉地区大会 (2018/7/21) 金賞 審査員特別賞 第61回吹奏楽コンクール宮城県大会 (2018/8/2) 銅賞 第52回アンサンブルコンテスト宮城県大会予選仙台青葉地区大会 (2018/12/8) フルート三重奏 金賞 クラリネット四重奏 金賞 サクソフォン四重奏 金賞 金管八重奏 銀賞 第52回アンサンブルコンテスト宮城県大会 (2019/1/13) クラリネット四重奏 金賞 サクソフォン四重奏 銀賞 第27回高校生ソロコンテスト東北大会 (2019/2/3) B♭クラリネット 鎌田こはる 銀賞, マリンバ 三浦琉 金賞
合 唱 部	第85回NHK全国学校音楽コンクール宮城県コンクール (2018/8/19～) 奨励賞 第70回全日本合唱コンクール宮城県大会 (2018/8/25～) 銅賞
囲 碁 部	第12回全国高等学校囲碁選抜大会 (2018/3/17～2018/3/18) 男子団体 第 9 位 福島悠太郎 千葉直人 安田光貴 第42回全国高等学校総合文化祭 (2018 信州総文) (2018/7/27～2018/7/28) 囲碁部門 女子個人第 5 位 大宮七虹 第42回全国高等学校囲碁選手権大会宮城県大会 (2018/6/23～2018/6/24) 女子個人第 1 位 大宮七虹 男子個人第 1 位 菊地秋 個人A組 第 1 位 菊地秋 女子団体第 1 位 大宮七虹・大西寿々音・佐藤琴音・阿部瑠月 男子団体 第 2 位 千葉直人 菊地秋 阿部雅史 安田光希 第19回宮城県高等学校囲碁九路盤大会 (2018/10/19～) 第 1 位 阿部雅史 第 3 位 菊地秋 第32回東北地区高等学校囲碁選手権大会 (2018/11/9～2018/11/10) 女子団体 第 1 位 大宮七虹・大西寿々音・佐藤琴音 男子団体 第 2 位 三将 菊地秋 優秀選手 大宮七虹・大西寿々音・菊地秋 第36回宮城県高等学校囲碁新人大会 (2019/1/27～) A組 1 位 菊地 秋 B組 1 位 川床隼太 C組 1 位 宮田悠紀菜

将 棋 部	<p>第35回宮城県高等学校将棋新人大会 (2018/11/3)</p> <p>男子A組 原 優太郎 優勝 男子A組 古藤 裕樹 3位 男子A組 伊藤 広貴 5位 男子A組 中村 行則 6位 女子の部 石井 優花 2位 女子の部 佐治 照紗 3位</p> <p>第19回東北地区高等学校将棋新人大会 (2018/12/15～2018/12/16)</p> <p>男子の部 原 優太郎 準優勝 男子A組 古藤 裕樹 15位 男子A組 伊藤 広貴 14位 女子の部 石井 優花 5位 女子の部 佐治 照紗 15位</p> <p>第35回宮城県高校新人将棋大会 (2018/11/10)</p> <p>男子Aクラス 2年原 優 勝, 全国大会へ 2年古藤 第3位, 東北大会 1年伊藤 第5位, 東北大会へ 2年中村 第6位</p> <p>女子 2年石井 準優勝, 全国大会, 東北大会へ 1年佐治 第3位, 全国大会, 東北大会へ</p> <p>第31回全国高等学校将棋竜王戦 (2018/7/1)</p> <p>2年原 準優勝, 1年伊藤 4位, 2年中村 8位</p> <p>第54回全国高等学校将棋選手権宮城県予選 (2018/5/3～2018/5/4)</p> <p>男子Aチーム (3年佐藤, 2年原, 古藤) 優勝, 全国大会へ</p> <p>第54回全国高等学校将棋選手権 兼 第41回全国高等学校総合文化祭将棋部門 (2018/8/2～2018/8/4)</p> <p>男子Aチーム (3年佐藤, 2年原, 古藤) 予選敗退</p>
書 道 部	<p>ふれあい書道展 (2018/7/19～)</p> <p>筆都大賞 吉田千優 特選 鹿野愛</p> <p>宮城県高校生選抜書展 (毎日書道展) (2018/9/17～)</p> <p>実行委員長賞 越後日向子 秀作賞 三島歩珠 秀作賞 山田理緒</p> <p>宮城県高等学校書道展覧会 (2018/12/9～)</p> <p>推薦 若森来実, 三島歩珠 特選 越後日向子, 山田理緒, 吉田千優, 国府田あつ子, 内海早貴, 鹿野愛 金賞 釜谷瑠美音, 小松新奈 入選 尾形陽菜乃, 田村三奈</p> <p>全国学生書道展 (2019/2/10～)</p> <p>奨励賞 若森来実, 越後日向子 推薦 山田理緒, 国府田あつ子, 小松新奈, 田村三奈</p>
放 送 部	<p>第65回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会 (2018/7/23～2018/7/26)</p> <p>大塚咲穂・岩瀬康穂 アナウンス部門出場</p> <p>第37回宮城県高校放送コンテスト新人大会 (2018/10/20～2018/11/8)</p> <p>大内桜子 アナウンス部門 優良賞 「仙台市民の台所」ラジオキャンペーン部門 優良賞</p> <p>第22回東北高等学校放送コンテスト (2019/2/9～2019/2/10)</p> <p>大内桜子 アナウンス部門 (出場予定) 「仙台市民の台所」ラジオキャンペーン部門 (出場予定)</p>
ギ タ ー 部	<p>第24回宮城県高校対抗バンド合戦 (2018/7/16)</p> <p>第3位 3119 高見和都人 3317 佐藤響平 3433 中澤遼太郎 3427 鈴木 恵 3540 水野 祥太</p> <p>ハイスクールプレミアムライブ2018 (2018/8/2)</p> <p>出場 (3119 高見和都人 3317 佐藤響平 3433 中澤遼太郎 3427 鈴木 恵 3540 水野 祥太)</p> <p>第4回宮城県軽音楽専門部1年生大会 (2018/10/8)</p> <p>出場 (1302 浅田知宏 1839 武藤夢大 1304 安部悠太郎 1413 小成田光 1109 今田義樹)</p> <p>第15回宮城県軽音楽専門部新人大会 (2018/11/10)</p> <p>出場 (2708 小野原颯太 2243 鷺頭 奈央 2210 門脇 摩耶 2234 三島 歩珠 2633 村尾 遊介)</p>
英 語 部	<p>平成30年度東北地区高等学校国際教育研究協議会 (ビデオ審査)</p> <p>菅原美日 第38回高校生英語弁論大会 宮城県代表選考会 最優秀賞 東北地区代表選考会 優秀賞</p>
写 真 部	<p>平成30年度第25回宮城県高等学校写真展 (2018/11/6～2018/11/11)</p> <p>入選</p>

◆北陵会・北社会の記録

(平成三十年四月)三十二年三月
回数、開催日、講師(回数)、
演題の順

【北陵会】

◆七十五回

平成三十年五月十七日(木曜日)
講師 及川 善祐氏(高24回)
(株)及善商店代表取締役
演題 「復興にかける
商人たちの熱き想い」
―次世代に繋ぐもの―

◆七十六回

平成三十年七月二十六日(木曜日)
講師 佐藤 英士氏(高39回)
講道館六段
演題 「護身力を磨く」
―その時護身術があなたを救う―

◆七十七回

平成三十年十一月十五日(木曜日)
パネルディスカッション
久保校長先生 生徒会長、応援
団長、北陵祭実行委員長、文化
部、運動部代表
テーマ「いま二高生が
頑張っていること」

◆七十八回

平成三十二年二月十三日(水曜日)
講師 郡山 賢一氏(高19回)
(株)キノックス代表取締役社長
演題 「きのこ業界の現状と
今後について」

【北社会】

◆三百四十回 四月十三日

ライオン株式会社執行役員
購買本部長
千葉 弘之氏(高31回)
「ライオン株式会社の意外な商品」
B to BでニッチNO1!

◆三百四十一回 六月二十八日

鈴木 博敦氏(高14回)
「日本100名山を登頂して
―日本100名山のご紹介―」

◆三百四十二回 十二月十二日

六華窯
岩井 純氏(高18回)
「六華窯とANTINO」

◆三百四十三回 三月二十一日

東京青葉倶楽部名誉会長
菅原 正人氏(高5回)
「硬式野球部の戦歴と
立教時代の長嶋選手」
以上

会員計報

(令和元年5月分まで)

平成5年

2/23 今井 四郎殿 中31回

平成15年

9/13 藤瀬 政友殿 中44回

平成18年

12/27 戸沢 知彦殿 高11回

平成20年

8 阿部 忠文殿 高20回

平成23年	1/23	鈴木 洋殿	高17回	12/21	鈴木 克彦殿	高14回	8/22	洪川 祥三殿	高15回
平成24年	4/9	相沢 寛殿	高19回	12/24	原田 暢夫殿	高8回	9/8	青木 汎殿	高14回
平成26年	6	岩淵 慶昭殿	高19回	平成30年	小野寺重人殿	高19回	9/13	菊地 宏殿	高8回
平成27年	9/22	水野 昭殿	中46回	1	笠原 武文殿	高3回	9/23	山形 迪殿	高12回
平成28年	5/28	河東田道雄殿	高19回	1	大泉 慎介殿	高6回	9/25	出村 博殿	高4回
平成29年	9/7	菊池 昭雄殿	高2回	1/7	千葉 和郎殿	中41回	9/26	湯目 英郎殿	高1回
平成30年	12/4	内田 詔夫殿	高13回	1/9	佐々木 實殿	高3回	9/27	羽中田鐵也殿	高6回
平成31年	6/15	鈴木幸一郎殿	高3回	2/1	島口 博充殿	高19回	9/30	遠藤 紘殿	高13回
	6/4	尾形 彰殿	高19回	3	瀬戸 勝男殿	中47回	10/3	斉藤 伸夫殿	中46回
	5/23	藤倉 俊殿	高2回	3/8	戸石 三雄殿	中44回	10/7	早坂 晃一殿	高6回
	5/20	山口 真一殿	高6回	3/23	高橋 敬殿	高1回	10/11	丸谷 弘殿	中46回
	6/4	尾形 彰殿	高19回	3/25	志茂 光基殿	高8回	10/16	照井 力夫殿	高4回
	12/4	内田 詔夫殿	高13回	3/30	吉田 俊雄殿	高6回	10/21	西澤 潤一殿	中44回
	平成28年	菊池 昭雄殿	高2回	4/18	佐藤 徳芳殿	高8回	10/22	熊谷 直理殿	高2回
	平成29年	永井 常男殿	中43回	4/22	山口 啓一殿	高5回	10/25	桃生 和夫殿	中46回
	1/2	古谷 文行殿	高6回	5/2	高橋 徳雄殿	高3回	11	大峽 健宏殿	高14回
	2/7	加畑 達夫殿	高14回	5/3	岡田 昶殿	中42回	11	佐藤 充正殿	高14回
	6/4	秋保 暁殿	高19回	5/9	好川 増雄殿	高3回	11	四倉 洋字殿	高14回
	6/28	梅森 正義殿	中45回	5/12	濱住 吉郎殿	高1回	11/20	高橋 和夫殿	中40回
	7/28	八浪 哲二殿	高17回	5/13	安海 康雄殿	高11回	11/26	清野 英一殿	高6回
	9/3	橋本 惠次殿	中45回	5/27	及川 勉殿	中47回	11/26	安藤 泰昭殿	高6回
	9/4	橋本 惠次殿	中45回	5/27	及川 勉殿	中47回	11/26	安藤 泰昭殿	高6回
	9/22	阿部 駿殿	中46回	5/27	安海 康雄殿	高11回	11/26	安藤 泰昭殿	高6回
	10/16	黒澤 忠寛殿	高45回	5/27	安海 康雄殿	高11回	11/26	安藤 泰昭殿	高6回
	10/25	鈴木惣之助殿	高15回	5/27	安海 康雄殿	高11回	11/26	安藤 泰昭殿	高6回
	11/5	大内 敬道殿	高8回	6/2	小室 義一殿	中43回	11/30	大友 一郎殿	高6回
	11/15	横山 敏行殿	高10回	6/8	井上 清和殿	高17回	11/30	大友 一郎殿	高6回
	12	大賀 暁美殿	中46回	6/9	小野 英哲殿	高11回	12	阿部 邦利殿	高6回
	12/13	小野 彰殿	高20回	6/27	伊藤 俊男殿	高6回	12/1	内海 碩殿	中40回
	12/17	遠藤 慎治殿	中41回	7/2	長谷川 寛殿	高5回	12/6	佐藤 光男殿	高4回
	12/22	村上 光平殿	高2回	7/7	伊藤 俊男殿	高6回	12/14	針生 温殿	高9回
	7/30	中川 文徳殿	中42回	7/13	桜井 幸雄殿	高7回	12/26	磯村 照郷殿	高15回
	8/14	武山 仁殿	中42回	7/19	高野 洋殿	高20回	12/26	磯村 照郷殿	高15回
	8/16	村上 光平殿	高2回	7/22	石山 昇殿	高4回	12/31	小林昌太郎殿	中37回
	8/30	中川 文徳殿	中42回	7/22	高野 洋殿	高20回	平成31年		
	8/30	中川 文徳殿	中42回	7/22	石山 昇殿	高4回	1/9	村上 二郎殿	高27回
	8/30	中川 文徳殿	中42回	7/22	石山 昇殿	高4回	1/20	佐々木健之殿	高11回
	8/30	中川 文徳殿	中42回	7/22	石山 昇殿	高4回	1/22	佐々木健之殿	高11回

今春の人事異動

▼転出された先生方▲

- 佐藤 弘人 教頭(公民)
(昇任) 小牛田高等学校 校長
- 佐藤 芳枝 教諭(英語)
(仙台南高校)
- 及川 美佳 教諭(家庭)
(泉高校)
- 玉田 賢司 教諭(地歴)
(昇任) 東松島高校 教頭
- 佐藤 貴志 教諭(地歴)
(仙台市立仙台工業高校)
- 吉田 明弘 教諭(数学)
(宮城野高校)
- 齋藤 有美 主幹(仙台西高校)
- 伊深 成美 主事(宮城野高校)
- 岸本 洋輔 講師(国語)
(任期満了)
- 佐藤 繁 非常勤講師(情報)
(任期満了)
- 加藤かおり 非常勤講師(生物)
(任期満了)

- 1/27 宮尾 尚志殿 高8回
- 2/13 亀掛川 滋殿 中44回
- 2/25 宮野 益男殿 高7回
- 3 齊 宣一郎殿 高27回
- 3 長嶋 栄一殿 高12回
- 3/1 大野 禎司殿 高15回
- 3/13 山形 淳殿 高8回
- 3/28 佐藤 一男殿 高12回
- 4/20 原田 伸正殿 高5回
- 令和元年 5/6 佐藤 宏一殿 高5回

▼転入された先生方▲

- 鎌田 秀和 非常勤講師(保健体育)
(採用) 金成支援学校 教諭
- 加藤 翠 非常勤講師(音楽)
(任期満了)
- 石井 智子 事務補助
(任期満了)
- 太田 隼斗 教務補助
(任期満了)
- 牛来 拓二 教頭(理科)
(古川黎明高校 教頭)
- 横山 佳司 教諭(英語)
(古川黎明高校)
- 鈴木 裕子 教諭(家庭)
(保健福祉部)
- 子ども総合センター 主幹
- 佐々木威芳 教諭(地歴)
(富谷高校)
- 山中 信宏 教諭(地歴)
(黒川高校)
- 志賀野智洋 教諭(数学)
(白石高校)
- 高橋 修 事務部長
(宮城県工業高校副参事)
- 村岡恵利華 主幹(利府高校) 兼 事務室長
- 長田 龍人 主事
(巨理町立巨理小学校)
- 兼 巨理町学校事務支援室
- 鈴木 矩直 非常勤講師(情報)
(新規採用 10h)
- 吉田 裕幸 非常勤講師(保健体育)
(新規採用 12h)
- 水口 俊彦 非常勤講師(音楽)
(新規採用 8h)

亀谷 華織 非常勤講師(数学)
(新規採用 6h)

▼昇任された職員▲

市川 文浩 総括主幹(事務次長)
(主幹(事務次長))

▼退職された職員▲

三浦 正勝 事務部長

▼再任用された先生方▲

吉原 満 教諭(数学)
森 功(技師(庁務))
篠 健一(臨時業務補助)

編集後記

元号が「平成」から「令和」に変わり新しい時代が到来しました。「令和」最初の同窓会報第52号も皆様のご協力のおかげで無事に発刊することができました。心から御礼申し上げます。同窓会の支部会も国内は北海道から九州まで完備されました。海外支部も含めて活発な活動を展開している様子が今回の会報にも沢山寄せられました。活性化が少しずつ進んでいます。

来年は東京オリンピックと同時に母校が百二十周年を迎えます。百二十周年記念事業の成功と同窓会の益々の発展には皆様のご協力が不可欠です。今後とも変わらぬご支援よろしくお願いいたします。

遠藤 康浩(高41回)

同窓会公式サイト(ホームページ)更に充実

仙台二高の Web サイト <http://www.sendainiko-dousoukai.com> が更に充実しております。

第一に「住所・連絡先変更」コーナーを新設し、卒業当時の住所から転居した方などが簡単に変更登録出来るようになりました。

第二に「同窓会関連 行事予定一覧(支部会・OB会・同期会等も含む)」コーナーを新設致しました。同窓会の公式行事を初め各支部会やサークルなどのOB会の開催予定を掲示しております。

同期会の開催案内なども掲載できますので、info@sendainiko-dousoukai.com まで開催情報をお寄せください。同窓生全体の情報のポータルサイトとして、一層のご活用をお願い致します。

どうぞよろしく願い申し上げます。

仙台二高同窓会メーリングリストの利用について

同窓会では、会員が相互に情報交換を行うために、メーリングリスト機能を利用しています。利用に当たっては事前登録が必要です。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<https://sites.google.com/site/sendai2dousoukai/>

なお、「Yahoo」をご利用されていた方も、改めて「Google」での登録を行って下さい。

二高への交通の便<仙台駅前から>

▶仙台市営地下鉄(東西線)・国際センター駅下車後徒歩約4分、運賃200円

▶仙台市営バス・仙台駅前バスプール16番から730、739系統『二高・県美術館前』下車、運賃180円

▶仙台市営市内観光循環バス『るーぶる仙台』・仙台駅前バスプール15-3番、運賃(1回券)260円、(1日券)620円。
(但し、瑞鳳殿、大橋、青葉山、八幡神社等とを大きく経由しています。)